

岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ

(岐阜県立高等学校ふるさと教育実施報告)

<令和5年度>

令和6年3月
岐阜県教育委員会

目 次

1	本検討まとめについて.....	1
2	活性化に関する取組み.....	1
(1)	ふるさと教育について.....	2
■	地域連携による活力ある高校づくり推進事業.....	2
■	地域課題探究型学習推進事業.....	11
■	グローバル探究実践事業.....	16
■	地域共創フラッグシップハイスクール事業.....	18
■	理数教育フラッグシップハイスクール事業.....	20
■	地域産業の担い手育成総合戦略事業.....	22
■	清流の国ぎふ ふるさと魅力体験事業.....	27
(2)	その他の事業等.....	28
■	県立高等学校の魅力発信.....	28
■	進学指導推進事業.....	28
■	高等学校における演劇等ワークショップ事業.....	29
(3)	令和6年度県立高等学校入学者選抜の改善.....	30
3	来年度以降の取組み.....	32
(1)	スクール・ミッションの再定義について.....	32
(2)	ふるさと教育の推進について.....	32
(3)	演劇等ワークショップの拡充について.....	34
(4)	遠隔授業の実施について.....	34
(5)	併設型中高一貫教育について.....	34
4	おわりに.....	35
5	資料編.....	36
参考資料1	中学校卒業予定者数の推移（県全体／地区別）.....	37
参考資料2	高校生の意識に関する調査結果.....	41
参考資料3	中高一貫教育校に関するアンケート結果.....	42
参考資料4	県立高等学校の案内に関するリーフレット.....	46
参考資料5	県外募集に関するチラシ、広報.....	54

1 本検討まとめについて

県教育委員会では、平成28年3月に岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会から提出された「審議まとめ」を受け、以降、県立高校の活性化の方策について具体的な検討を進め、年度ごとに取組結果等を「検討まとめ」として取りまとめてきた。

本報告は、岐阜県立高等学校の活性化に向けた令和5年度の実績、平成31年3月に策定した岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）に掲げたふるさと教育の令和5年度の実施状況及び来年度以降の実績について報告するものである。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたこともあり、従前どおり地元企業や大学等から外部講師を招いたり、生徒が実際にフィールドワークに出かけたり、各高校の特性に応じて、ふるさと岐阜を題材とした探究的な学びが数多く実践された1年となった。

2 活性化に関する取組み

「平成28年度の検討まとめ」において、県立高校の活性化の基本方針として取りまとめたグランドデザインに基づき、個別のより高度な学習ニーズへの対応や大学合格実績の向上、大学進学から就職までを含めた多様な進路希望への対応、地域産業を担う人材育成、更には多様な学習スタイルへの対応等、高校の特性に応じた活性化策を検討し、毎年改善を加えて活動内容を更新しながら具体的な取組みを実施してきた。令和5年度の実績は以下のとおりである。

(1) ふるさと教育について

令和5年度 高校における「ふるさと教育」の展開	
これまでの取組	R5年度 当初予算 主な関連事業 (第3次岐阜県教育ビジョン最終年度)
<p>急激な生徒減少期において</p> <p>➢ 教育水準を確保し</p> <p>➢ 教育機会を保障するため</p> <p>ふるさと教育を通じ、高校の特性に応じた高校活性化の取組を展開</p>	<p>【継】 グローバル探究実践事業</p> <p>文系・理系の枠に捉われない探究的な学び（STEAM教育）を通じて、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力の育成を図る <small><取組例> 国内外の教育機関や国際的な企業、地域の関係者等と連携した研究活動 等</small></p> <p>岐阜北、長良、加納、岐阜工、大垣北、可児、恵那</p> <hr/> <p>【継】 地域共創フラッグシップハイスクール事業</p> <p>豊かな語学力・コミュニケーション能力、異文化理解の精神等を身につけ、地域創生などの様々な分野で活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る <small><取組例> 国内外の大学、地域の産業界や海外展開する企業等、関連機関との連携による体験的活動 等</small></p> <p>岐阜県商、関、多治見北、斐太</p> <hr/> <p>【継】 理数教育フラッグシップハイスクール事業</p> <p>理数分野における課題発見・解決学習のカリキュラム開発を通じて、主体的、協働的に自ら学ぶことができる人材育成を図る <small><取組例> 国内外の大学、研究機関等と連携した研究活動、地域の自然を活用した探究活動 等</small></p> <p>岐阜、岐山、岐阜農林、大垣東、古城</p> <hr/> <p>【継】 地域課題探究型学習推進事業</p> <p>産官学で連携し、ICTを活用するなどして地域課題を発見し、解決を目指す実践的な学びを通じて、社会を主体的に生き抜く人材育成を図る <small><取組例> 地域との連携による出前授業等を活用した探究活動 等</small></p> <p>羽島北、各務原、各務原西、本巣松原、羽島、大垣南、大垣西、郡上、武義、加茂、多治見、中津、益田清風</p> <hr/> <p>【継】 地域連携による活力ある高校づくり推進事業</p> <p>学校の活性化に向け、地域と密接に連携した取組を通じ、各学校の特色に応じた探究的な学びを推進。地域創生の担い手となる人材育成を図る <small><取組例> 学校・地域による活性化のためのアイデア実案・商品開発、地元企業と連携した企業実習 等</small></p> <p>山県、揖斐、池田、不破、海津研誠、郡上北、関有知、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅蔭、恵那南、恵那農、坂下、中津西、中津川工、高山工、古城、飛騨神岡</p> <hr/> <p>【継】 地域産業の担い手育成総合戦略事業</p> <p>実践的な体験等を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成や国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進 <small>・事業指定校：本事業に関するこれまでの成果を集約・融合させ、新たな地域協働の学びのモデルを構築</small> <small>・事業指定校以外：事業指定年度の取組の成果を、新学習指導要領の学びに定着させる取組を展開</small></p> <p>岐阜総合、岐阜県商、岐阜各務野、岐阜農林、大垣北、可児工 <small>＋ その他の専門科設置校（R元～R4事業指定）</small></p> <hr/> <p>【継】 学校運営協議会設置費</p> <p>学校・保護者・地域の連携を強化し、学校運営に主体的・協働的に関わることで、学校と地域の活性化を図る</p> <p>全県立高校・特別支援学校</p>
<p>普通科高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の課題をグローバルな視野で捉えた探究的な学びを推進し、国際舞台や地域で活躍できる人材を育成 ✓ 大学や地元自治体等、関連機関等との協働により、地域の魅力を知り課題を発見・解決する学習を推進 <p>地域の小規模高校（グループ1・2の高校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校と地域を強く結びつける活動を通じて、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習をさらに推進 ✓ 地域や保護者の理解・協力を得ながら、学校の活性化に向けて、地域に根差した学校運営をさらに推進 <p>専門高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業界等との連携を通して、地域の資源を活用した取組を進展させ、地域産業を担う専門的職業人を育成 ✓ 実践的・体験的に探究的な学びを推進し、学科横断的な取組を通じて、地域の課題解決に向けた取組を推進 	<p>◎ 未来を支え、未来を創る人材の育成</p> <p>◎ 『第4次教育ビジョン』の策定</p>

■ 地域連携による活力ある高校づくり推進事業

本まとめでは、今年度の取組結果の報告とともに、来年度以降、新しい教育振興基本計画のもと、事業対象校を再整理して新規事業に継承することから、本事業を実施してきた19校におけるこれまでの取組みを総括する報告とする。

<p>山県高校 【普通科】</p> <p>主な取組み</p> <p>①企業実習（デュアルシステム）の実施【工業類型2年次生】 2年次生の工業類型選択者が、地元企業11社の製造業・建設業にて実習をした。4月から1月まで週1日（火曜日）の実習を単位として認定している。社会人としての生活習慣やマナーを学ぶとともに、将来地元企業で働き、地域に貢献するという意識を養った。</p> <p>②福祉全般に関する交流、講義及び実習【福祉類型2・3年次生】 山県市の理解と協力を得ながら、山県市社会福祉協議会主催の一般介護予防事業「まめかなクラブ」に参加し、介護予防を目的として利用されている高齢者の方々に対して体操や工作などのレクリエーションの企画・運営を行った。</p> <p>成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての生活習慣やマナーを学ぶとともに、将来地元企業で働き、地域に貢献するという意識を養うことができた。継続的な実習先の確保が課題である。 ・生徒の学習内容とも関連させ、研究・交流活動を継続しながら、リアルな体験を少しずつ増やして充実した内容に発展させることができた。

揖斐高校 【普通科、家庭科】
主な取組み
<p>①地域医療と進路実現 地域医療講座や地域医療ワークショップへの参加を通して過疎化が著しい地元の実態を理解すると同時に、参加した生徒自身が自分の適性を確かめることができ、有意義な実践となった。</p> <p>②デュアル実習（年間を通じた企業実習） 自分の適性を確かめるため、希望する地元企業で年間20回、毎週水曜日、終日、地元企業の指導の下、汗を流す体験をした。デュアル実習を通して精神面で成長した生徒が多く見られた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・体験した生徒の多くが進路実現に結び付けることができ、実りある取組みとなった。また、地元への理解をより深め、郷土愛を育む実践となった。 ・学習成果発表会では後輩や保護者、お世話になった企業の方々に、成長したこと、学んだことを舞台で発表した。今年度は8名中3名がデュアル実習でお世話になった企業から内定をいただいた。

池田高校 【普通科】
主な取組み
<p>①地元自治体や教育機関と連携した探究学習の実施 池田町役場各課から地域課題に関する講義を聴いたり、提携している大学の学生・教員による助言・指導を受けながら、学校全体で探究学習を進めている。この中から外部の各種コンテストに参加、発表するグループもある。また学校設定教科「地域」においても地元団体や行事で連携活動を行っている。</p> <p>②地域でのボランティア活動や魅力発信事業の実施 ボランティア部を中心に、地域の清掃活動や学習ボランティア、イベント運営等に参加したり、吹奏楽部が保育園等で演奏をしている。町の魅力をSNSで発信する池田町との共同企画（通称「池田町イケてんだ・プロジェクト」）が今年度新たに発足し、現在生徒会役員を中心メンバーとして活動している。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携することによって、物事を自分事として具体的に捉えて思考や判断、行動する視点や資質の向上に寄与している。 ・様々な活動を行っているが、学校外の認知度の点ではまだ弱いように思われる。活動内容や様子について、より積極的な外部への発信や働きかけが必要である。

不破高校 【普通科】
主な取組み
<p>①朝倉運動公園再開発の探究学習を実施 垂井町内にある朝倉公園の再開発計画を取り上げた。現地の調査を行い、グループごとに改善点の洗い出しなどを行い、垂井町への提案という形でまとめ、その後学年全体で共有した。優れた提案をしたグループは学年代表となり、1年間の成果報告として垂井町教育長はじめ、垂井町都市計画課の職員の前で発表した。</p> <p>②地元企業（不破郡）で働くOB・OGとのパネルディスカッションを実施 地元企業で活躍しているOB・OGと本校生徒との意見交流の場を設定し、その様子を全クラスにオンライン配信した。岐阜県（地元）で働くことの良さや、歴史や文化、風土を活かした産業を紹介する講義を同時に実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の再整備を自分自身の問題として捉え、よりよい公園の形をイメージすることができた。 ・公園整備に関わる垂井町の財政面のアウトラインが分からないため、生徒の豊かな発想が夢物語で終わるかもしれないという不安がある。 ・地元企業の事業内容や地元で働く魅力を知るとともに、進路選択や学校生活で意識すべきことを学ぶことができた。 ・生徒の進路に対する意識を高めていくため、OB・OGをはじめとする社会で活躍する人々と交流する機会をより多く設定していくことが今後も必要である。

海津明誠高校 【普通科、商業科、家庭科】
主な取組み
<p>①地域の高齢者問題、認知症予防教室を企業や行政と連携して実施 高齢者率の高い海津市において、高齢者の介護予防として、認知機能の診断を行う脳トレアプリの操作を教えた。活動を通して、一緒に考えること、思いやりのある声かけをすること等が高齢者の外出意欲や脳の活性化につながると実感できた。</p> <p>②地域の観光資源を活性化、さぼうでイルミナ企画 観光資源を活性化させる取組みとして、「さぼうでイルミナ」のイベントを企画・運営を行った。海津市役所・商工会青年部と竹灯籠の製作や点灯式など、地域の方との活動で刺激を受け、地域活性化について考える良い機会となった。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域が抱える課題（高齢化・観光産業）について、課題解決を考え、活動することで、生きた課題解決学習を行うことができた。 ・学校ホームページや市広報誌、活動紹介チラシなどの媒体で活動を紹介したが、中学校にどこまで広報できていたかを分析し、本校の魅力発信の方法を模索したい。

郡上北高校 【普通科】
主な取組み
<p>①地元の鉄道会社と連携し、フィールドワークを行い、お散歩マップを作成 地元の長良川鉄道と連携し、課題を共有し、白鳥町内の駅と駅周辺でフィールドワークを行い、周辺の店舗や企業とも連携し、お散歩マップを作製した。</p> <p>②食品ロス減らし隊による啓発活動【生徒有志】 昨年度結成された食品ロス減らし隊を引き継ぎ、カレンダーの作製や、地元スーパーでの啓発活動を行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業や個人が、学校の活動に対し大変協力的であり、活動が進めやすかった。 ・生徒が外に出ていく場面の時間や予算の確保が難しい。

関有知高校 【普通科、家庭科】
主な取組み
<p>①生活産業教育を通じた地域連携 高齢者福祉施設でのレクリエーションの実施や、安桜小学校ふれあいクラブの小学生対象ワークショップでボランティアを募りランタン等を作る交流を実施した。毎年行っている季節の壁面構成（春・夏・秋・冬）を作り、保育園に届けた。</p> <p>②学校運営協議会を通じた地域連携 「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加し、地元小中学校に種子を配布してヒマワリを育てる「里親」体験をし、関市環境フェアにて展示発表を行った。関有知ジモト大学として地域の方を講師として、物作り体験授業を行った。特に関有知ジモト大学は次年度にも繋がる事業であるため、学校運営協議会において実施内容等を検討し、意見を反映させた。これらの行事は地元自治体やNPO法人等と連携して進めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・関市環境フェアなどの新しい機会に参加することができた。 ・地域との連携を継続的に実施していくシステムをどのように構築していくか。 ・ふるさと教育を通して生徒に地元への愛着をどのように持たせていくか再検討していく。

八百津高校 【普通科】
主な取組み
①デュアルシステム（企業実習） デュアルシステムを選択した生徒が年間30回、それぞれの企業で終日「企業実習（6単位）」を実施。火曜日と金曜日には「企業実習基礎（2単位）」により、実習の事前・事後指導を継続的に実施した。また、八百津町ファミリーセンターで成果発表会を実施し、その様子をオンデマンド形式で連携中学校に配信した。
②「郷土の歴史と地理」に係る探究学習 学校設定科目「郷土の歴史と地理」の授業で、タブレットや書籍を用いてふるさと八百津について各々がテーマを設定し探究学習を実施した。また、八百津町の新名所となった新旅足橋のバンジージャンプ場と、町の経済と大きく関わってきた丸山ダムの内部、宮本武蔵ゆかりの五宝の滝の見学を実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた継続的な企業実習に取り組み、経験を重ねたことで、自分に自信が持てるようになり、将来について真剣に考え始める生徒が増えた。また、デュアルシステムを修了した生徒は卒業してからの離職率が非常に低い。 ・実習先の仕事内容と、生徒が求めるものとのミスマッチが生じないように1年次の時点で両者のマッチングについて十分に考慮することが重要である。

東濃高校 【普通科】
主な取組み
①郷土料理「みたけ華ずし」手作り体験 3年次「フードデザイン」選択者が新しい郷土料理「みたけ華ずし」の手作り体験を、「みたけ華ずしの会」から講師を招き実施した。生徒は真剣な眼差しで講師の話を熱心に聞き、華ずしづくりを楽しみながら、主体的に取り組んだ。断面の美しい模様に生徒たちからは歓声が上がり「切り口がバラの花になっていて感動した。」との感想があった。
②防災リーダーの育成 御嵩町が実施する「防災アカデミー」の4日間の講座に、今年度は1年次希望者2名が参加し、災害発生時に中心的な役割を担って行動するための学びを深め、学校設定科目「防災リーダー養成講座」1単位の修得を認定した。また、2学期終業式で学習の成果を全校生徒に向けて報告し、防災リーダーとして活躍した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と関わることに生徒は喜びを感じ、主体的・対話的な学びを深めていった。 ・地域の「新たな食文化を生み出す取組み」から、「地域文化の創造」の学習を意識させることができた。 ・防災の知識や地域の土砂災害警戒区域等の学習を通して、生徒は防災リーダーとしての知識と姿勢を学び、また全校発表を通して、その自覚と使命を強くすることができた。

瑞浪高校 【普通科、家庭科】
主な取組み
<p>①高校生と地域のコミュニティ推進協議会が連携した地域活性化活動 瑞浪市陶町コミュニティ推進協議会と連携して陶町の地域活性化活動に取り組んだ。生徒は陶町の歴史や観光拠点等を事前に学習した後、①観光応援活動、②観光PR活動、③ものづくり活動の3グループに分け、さらに3～5人の小グループで具体的な活動を提案した。それぞれのグループで採用となった活動案を来年度の活動として引き継いでいく。</p> <p>②高校生と地域が連携したプロジェクト 瑞浪市役所の市民協働課をはじめ各分野の地域のパートナーと連携し、化石検定の実施や養蜂ビジネス、半原カボチャの加工品の開発等瑞浪市の地域活性化に関連した活動を行った。協力してくださるパートナーの方から助言を得ながら課題の解決に向け努力した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 化石検定はNHKや新聞にも取り上げられ、目に見える評価として生徒の自信につながった。また、どの分野の活動も学年進行と共に主体的に取り組む生徒が増える傾向にある。 生徒の活動意欲に差がある。 外部の協力者（パートナー）の負担や、謝礼に関する問題。

土岐紅陵高校 【総合学科】
主な取組み
<p>①地域の「下石どえりゃあええ陶器祭り」に学校行事として参加 1年次生は小グループによる窯元巡り、2年次生はメイン会場にて、地域の子どもたちを対象にした「あそびのひろば」の企画運営、3年次生はSNSで使用する祭りのアイコン制作や「食と器」をテーマとした研究を地域と連携して行った。</p> <p>②美濃陶磁歴史館との連携および「ときはく」市民ワークショップへの参加 美濃陶磁歴史館の持つ文化的価値や抱える課題について、出前授業やバス見学を実施し、3年次生では、「市民に開かれた博物館」をテーマに研究した。その内容が評価され、「ときはく（仮称）」市民ワークショップにゲストスピーカーとして招聘され、制作した周知ポスターは、広報物として使用してもらうことができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 祭りを通して地域産業や文化や歴史について触れることができ、地域資源の豊かさを感じることができた。 外部との連携活動をする際に、円滑なコミュニケーションをするための校内の組織体制の整備や、生徒が校外活動をする際の指導体制の整備など課題が見つかった。

恵那南高校 【総合学科】
主な取組み
<p>①地元事業所と連携し、地産地消を目的とした商品開発を実施 恵那市明智町の「アケチりんごパーク」のりんごについて学び、りんごの摘果や収穫を経て、傷などで販売に至らないりんごを使って「おんさい工房」で商品加工を実習し、地元のイベントで販売、6次産業学習を実施し、地産地消を体験した。</p> <p>②地元企業と連携し、ドローンについて学び、民間認定資格を取得 地元のドローン関連企業と恵那市、恵那南高校の三者連携により、ドローンの講座を受け、ドローン操作の体験実習を経て、民間認定資格を取得し、空撮技術を学び、企業や地域の課題解決に向けて考察した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 取組みにより地元の特産品について学び、地産地消を実体験でき、ドローンの受講者全員が国土交通省認定操縦士資格を取得することができた。 今後は、6次産業学習の取組内容の精選を行うとともに、ドローン操作の活用法を考察し、この取組みを地域や中学校へ広めていきたい。

恵那農業高校 【農業科】
主な取り組み
<p>①各種の恵那市連携事業を実施 市の目指す「発酵のまち」事業と連携して、市内小学校での食育授業や市給食センターのメニュー開発等の課題研究活動が具体的な活動として成果を上げた。また、「全国発酵食品サミット」が恵那市で開催され、研究発表、販売ブース、市民向けパン作り教室の指導を生徒が務めるなど、大きな成果となった。</p> <p>②地域の産業界との連携事業で、最新技術の実践的な専門教育を実践 地域におけるオーガニックマルシェ開催事務局などへ生徒が参画した。また、産業技術領域でもスマート農業の展開を通して、地域の農業センターとしての充実が進んだ。また、地域農業者等へのスマート農業活用講習の指導者を生徒が担当した。農業高校が地域をリードすることで、生徒自らが学ぶ学習が定着してきた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・上級生では地域や行政・産業界との連携で課題研究を通じて生徒の主体性が育ち、下級生では農業高校の基礎基本に係る学習への意欲につながった。 ・活動が小グループ単位であることから、生徒によって体験の質や場面にばらつきや差が大きいことが課題であるので、連携先・場面について今後の精選が必要である。

坂下高校 【地域探究科、福祉科】
主な取り組み
<p>①「咲明日高校マルシェ」の開催 昨年度に続き、①学習成果の中間発表、②地域住民や地域で活躍する人材との連携、③地域の方との異世代交流を目的とした「咲明日高校マルシェ」を開催した。地域から60を超える出店と、約1,400名もの来場者があり、生徒は授業や特別活動の学習成果を、展示や発表を通して、地域の方に発信することができた。</p> <p>②地域探究科2年生「総合的な探究の時間」におけるゼミ活動 1年生で学んだ探究の方法を積み上げる形で、7分野（健康医療、坂下の魅力発信、歴史交通、地震防災、食、伝統芸能、咲明日高校マルシェ）のゼミに分かれて、16の地域課題について探究活動を実践した。7月のフィールドワーク、9月の中間発表を経て、「咲明日高校マルシェ」で学習成果を地域に発信、提案することができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携による教育活動を通して、生徒が自己肯定感、自己有用感を高めることができ、主体的に取り組む姿勢と地域貢献への態度を養うことができた。 ・学校が地域の中心部にないため、フィールドとなる場所への移動交通手段と、講師等を依頼した場合の予算不足の問題があげられる。

中津商業高校 【商業科】
主な取り組み
<p>①地元企業と協力した商品開発 規格外野菜の里芋を使ったジェラートや地元の中学校で収穫した栗を使ったプリンの商品開発から販売までを地元企業の協力のもと行った。</p> <p>②地元の企業の魅力を動画で発信プロジェクト 就職を間近に控えた同年代に向けて、企業の魅力を伝えるための動画作製をおこなった。11社から取材協力を得て、グループに分かれてPR用のショート動画を作製し、SNSに投稿することで、若い世代に数多くの動画再生をしてもらい魅力を発信した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs（フードロス削減）に貢献することで、付加価値の提供を実現することができた。 ・商品開発、販売を行うには地元企業の協力が必要不可欠なことが実感できた。 ・数多くの動画再生をしてもらうことができた。（1か月で最高1万回の再生があった） ・今後、動画再生が企業への就職を検討する材料となったかの成果を検証する必要がある。

中津川工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①ものづくり教室の実施 中津川市子ども科学館や坂本地区自治体、えなしこどもフェスタ実行委員会と連携し、幼児から小学生に対して各学科が持つ特徴を活かし、ものづくりの楽しさを知ってもらうためのイベントを実施した。</p> <p>②地域資源を活用したものづくり教育 地元企業と連携し、最先端の研究施設の見学会の実施や、キーホルダーの射出成型金型の製作を行った。地元の財団から寄付していただいた木材を実習や中学校の出前授業に活用した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年代の地域の方々との交流を通じて、生徒のコミュニケーション能力が育成された。また、取組みにやりがいや達成感を感じた生徒も多く、自己肯定感を高めることができた。 ・地元の様々な団体から高校生へイベントに参加して欲しいという依頼が来ている。取組みを継続的に行うためにも、さらに多くの職員・生徒が取組みに関わることができるようにしていく。

高山工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①外部講師を招いて「木彫り干支彫刻の実演と講話」を実施 飛騨高山の伝統工芸の技を受継ぐ彫刻師を招聘し、本校生徒に学校設定科目の「匠」の授業の中で、木彫り干支彫刻の実演と講話を実施した。この授業を通して本校の生徒の技能向上を図るとともに技能伝承の心を養った。</p> <p>②広報新聞「T-Magazine」、学校行事の開催案内チラシ、ポスター等の制作や配布 飛騨地域で唯一の工業高校を飛騨地域の中学生やその保護者全員に広報（アピール）するために、生徒が「T-Magazine」、学校行事の開催案内チラシ、ポスター等の制作や配布に関わり、探究的な学びを実践した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化の基礎となっている「飛騨の匠」の技と心を学び、「木を生かす」技術や感性、地域産業の振興を探究することができた。 ・広報新聞「T-Magazine」等を活用して、飛騨地区で唯一の工業高校として地域産業に貢献している本校の魅力を、継続的に発信するための予算化と校内の体制づくりが必要である。

吉城高校 【普通科、理数科】
主な取組み
<p>①高等教育機関等の協力を得て、地域課題解決型学習活動の学習成果発表会を実施 県内の大学の協力を得て、年間を通して学校内で実施してきた地域課題解決型学習（各教科科目の授業、学校設定教科「ESD」、総合的な探究の時間、課外活動プログラム）の学習成果発表会に、教職大学院准教授を講師として招聘し、指導助言を頂いた。</p> <p>②民間企業の協力を得て、大学等総合型選抜支援を実施 大学等総合型選抜入試における「志望動機の掘り下げ、高校生活における諸活動の振り返り、ディベート、面接、プレゼンテーション等」について、飛騨市内民間企業の外部講師に指導・助言をいただき、志望校合格に向けた取組みを行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けて、生徒の学びの力の育成（探究活動支援）と、入試に向けた実践力育成（総合型選抜支援）の両面から助力をいただき、学校の活性化につながった。 ・今後は得た知識を、さらに地域や小・中学生に向けて還元すべく取組みを進めたい。

飛騨神岡高校 【総合学科】
主な取り組み
<p>①連携型中高一貫教育の取り組み 本年度で13年目となる中高連携では、本校生徒が講師として連携中学へ出向き、「情報モラル講話」や「租税教室」を行った。連携中学校だけではなく、地元小学校ではロボットや俳句などの出前授業や挨拶運動を行い、保育園とも交流会を行った。そのほかにも、老人介護施設でのボランティア活動や、交通安全啓発活動を行った。</p> <p>②ひだかみアカデミア「がくしゃへGO！」を開催 地域における文化・教養の拠点としての「学校」の在り方を提案したいと本年度初めて開催。地域で活躍される研究者や各方面で活躍されている達人、飛騨神岡高校の地域の応援団「飛騨神サポーター」の全面的な協力により21講座を開講した。生徒は希望する講座を受講し、地域の方々と共に学んだ。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と共に学ぶことにより、地域のよさや課題を知り、地域を身近に感じることができた。また、地域の方々にも本校生徒のよさをわかってもらえるよい機会となった。 ・本校の教育活動が地域に認知されるにつれ、行政や地元からの協力依頼や連携した取り組みの提案が増えてきた。 ・様々な活動を通して、生徒自身がふるさとを意識し、大切にしていける使命感や責任感が育っていると感じられる。 ・地域の子ども（生徒）たちを地域ぐるみで育てられるよう、今後も地域との連携を深めていきたい。

華陽フロンティア高校 【普通科（定時制・通信制）】
主な取り組み
<p>①キャリア教育として、2年次生を対象とした各務原市の企業見学を実施 早期からのキャリア意識醸成のため、岐阜県の主要産業である製造業の現場を見学することで、主体的な進路決定に取り組めるように支援することを目的とし、各務原市の協力のもと各務原市の各企業を見学するバスツアーを実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業への就職希望者が多い本校生徒にとって、地元産業について学ぶ良い機会となり、進路意識の向上を図ることができた。

東濃フロンティア高校 【普通科（定時制）】
主な取り組み
<p>①「泉町（土岐市）文化祭」で地域の子供たちと交流 泉町（土岐市）文化祭で、「ストラックアウトコーナー」（本校生徒製作）・「紙コップ飛行機の製作コーナー」（本校生徒指導）のワークショップを出店し、本校の生徒と地域の子供たちとの交流を行った。</p> <p>②「学校生活に不安を抱える中学生のための高校生相談会」参加 不登校や相談室登校などの不安を抱える、土岐市内の中学生やその保護者に、本校生徒が過去の体験を語り質問を受け、将来の不安を解消するための一助とした。また少人数教育など、本校の特色を紹介し、中学生との交流を図った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動などを通じ、地域の方々や子供たちと交流することによって、地域住民との相互理解を図り、地域の良さを再確認することができた。 ・今後は、地域との相互理解を基に、本校の取り組みを地域住民や中学生等に伝えることで、本校の魅力をさらに発信したい。

成果と課題及び今後の方向性

本事業の対象校は、平成 28 年 3 月に県立高校活性化計画策定委員会から提言をうけた「審議まとめ」において、学校規模の将来推計により 3 学級以下になることが見込まれる高校を、再編統合の検討対象校とした 19 校である。この位置付けと同時に、こうした高校においては、地域が高校とより主体的・積極的に関わることが不可欠であるとの提言も受けた。さらには翌年度の総合教育会議においても学校規模という数の論理ではなく、それぞれの地域に合った活性化策を徹底的に議論し、実施すべきであるとの指摘があった。

こうした背景から、平成 28 年度以降、各高校では、学校や、首長をはじめとする市町村関係者、地元の県議会議員や産業界代表などからなる協議会を設置し、地域との連携を主体とした探究学習活動のほか、学科の改編などの提案もなされ、それを生かした数々の取組みや学科、コースの見直しがなされてきた。また、各校の協議会は、令和元年度には 19 校全ての高校で学校運営協議会に移行され、学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクールとして、地域とともにある高校としての位置付けを確立した。こうした流れは令和 3 年度、県立高校全 63 校がコミュニティ・スクールとなる契機となり、学校運営に地域の声を生かし、地域とともに学ぶことで特色ある学校づくりを進めていく、本県ふるさと教育の礎となった。

本事業の具体的な成果として、地域から一定の評価を得ていること、県内就職率の上昇¹や、地域の活性化に資する就職先、進学先を選択する生徒を輩出したこと、生徒の「在籍校の満足度」「主体性・協働性」「地域や社会への関心度」が事業開始前と比べ、その数値が高まっている²ことなどが挙げられる。

また、課題としては、定員充足率や高校設置市郡からの入学率の上昇に直接的な影響がなかった³こと、地域との連携活動に対する教員の負担感が増していることなどがあると捉えている。

こうした評価は、今後も継続的に行いながら、次期事業の評価、検証に生かしていくものであり、平成 28 年度より実施してきた「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」での真の価値、評価は、前述のとおり、地域と学校の垣根が低くなり、地域と学校が一体となった教育活動が定着したことにある。

今後は、事業対象校を再整理した「CORE ハイスクール事業」において、こうした財産を継承、発展させながら、学校がそれぞれの場所で、地域創生の核、地域

コミュニティの核となるべく、引き続き、地域と学校が一体となった教育活動を展開していく。

【参考】

- 1 県内就職率が上昇した学校 13校／19校
- 2 高校生の意識に関する調査の結果（H30とR3-5平均の比較（H30比））

在籍校の満足度	+	6.6%	(+	4.8%)
主体性・協働性	+	14.8%	(+	12.1%)
地域や社会への関心度	+	7.2%	(+	6.6%)

※数値は19校の平均（県立63校の平均）
- 3 定員充足率が上昇した学校 7校／19校
設置市郡からの入学率が上昇した学校 4校／19校

■ 地域課題探究型学習推進事業

産官学で連携し、ICTを利活用するなどして地域課題を発見し、解決を目指す実践的な学びを通じて、社会を主体的に生き抜く人材育成を図る。

羽島北高校 【普通科】
主な取組み
<p>①地域の課題を探究（1年次生） 大学の先生とゼミ生を招き、探究学習の意義やスキルなどを学んだ。その後、地域の方から困りごとを話していただき、生徒はグループでその課題に対する探究学習に取り組み、解決のアイデアを出し合った。</p> <p>②『防災×〇〇』を探究（2年次生） 外部講師による災害に関する話や避難所シミュレーションゲームを通して、防災を自らのこととして捉え、『防災』と進路希望、興味・関心を掛け合わせたテーマを設定して、進路希望別のグループで探究学習に取り組んだ。電話やメール等での取材活動を行い、課題解決のアイデアをパワーポイントにまとめて発表会を実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通じて、地域の課題に触れるとともに、地域のことを真剣に考えている大人がいることに気づいてもらう良いきっかけになった。 ・大人でも解決できていない課題に取り組むのは、少しハードルが高かった。 ・今後は、取組みを進める中で、地域で生きる自分を実感し、地域で活躍できる人材となることを期待したい。

各務原高校 【普通科】
主な取組み
<p>①地元企業との連携により地域課題の解決に向けて探究学習を実施 本来なら捨てられるはずの端材や食べ物の一部などを木材に混ぜ込んで、新たにオリジナルのパネルを創り出すという取組みを探究学習の中で実施した。また各務原市産業・農業祭においてボランティア活動に参加し、地域の方々と端材の再利用やパネル作成に取り組んだ。</p> <p>②SDGsに関する講演の聴講とSDGsカードゲームの実施 SDGsに関する講演を聴き、現代社会の諸問題を理解しつつ、自分は何ができるのかという視点を持つことができた。またカードゲームを実施したことにより、問題に対しての解決策をブレインストーミング形式で発案でき、柔軟な発想と広い視野を持つことにつながられた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 探究学習を通じ、各務原市の抱える社会的な課題を的確に理解できた。また、その解決に向けて自分はどのように貢献できるのかということ、具体的に考えることができた。 今後は、地元の企業が街の活性化のために考えていることを調査し、それと各務原市の抱える課題をつなげ、地域課題の解決に向けてさらに充実した探究学習を実施したい。

各務原西高校 【普通科】
主な取組み
<p>①地元企業の講師による仕事の内容と魅力やその課題についての講話 地元または近隣地域に所在する企業から講師を招き、その仕事内容や魅力、課題についての講演やワークショップを行っていただいた。生徒は希望した2団体の講話を聞き、その仕事の魅力を知るとともにその課題について考え、解決方法を考察した。</p> <p>②各務原市役所職員から地域の現状を提示していただき生徒自らが解決方法を模索 地元の各務原市役所職員より、県や市が抱える課題を企業ベースに提示していただき、生徒は個々の課題について調べ、解決方法についてグループで考え、相談しながら探究活動を行った。成果をプレゼンテーションすることで、お互いに交流し、問題解決に努めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> これらの取組みを通して、地元のことを知るとともに抱える課題について意識し考え、多方面の人から話を聞くことができた。 今回の取組みを今後どう生かし、県民・市民として貢献していけるかを考える機会をもたせたい。

本巣松陽高校 【普通科】
主な取組み
<p>①市制プロジェクトへの参加と地域課題探究型学習の実施 本巣市制20周年企画に参加し、樽見鉄道のラッピングデザインと愛称を考え、本巣市と繋がる機会をもった。また、2年次では、探究テーマを設定し、データを集め根拠に基づいて考察し、『松陽生にできること』としてポスター形式にまとめた。1年次生は、『理想の本巣市×自身の探究課題』をテーマに、本巣市の現状を踏まえた課題検証や提案に取り組み、クラス内でプレゼンテーションを実施した。</p> <p>②フィールドワークと地域ファシリテーター制度による直接対話を通じた地域探究学習 地域の施設、企業見学、街頭アンケートを実施し、探究テーマの情報収集を行った。地域ファシリテーター制度を導入し、本巣市で課題解決に取り組まれている方々、市議会議員、会社経営者、本巣市役所の方に来校していただき、生徒達のテーマに関する対話の中で、生徒の課題意識を深め広げる取組みを実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 市制企画の参加や数年ぶりのフィールドワークの実施により、現地の人々の声、資料を直接得ることができただけでなく、本巣市への愛着を持つことができ、魅力を再確認する機会となった。 本校の取組み、魅力を広報し、地域とともにある本巣松陽高校を目指す。

羽島高校 【普通科】
主な取組み
<p>①羽島市、朝日大学及びアクアトト・ぎふとの連携による地域課題探究活動 イタセンパラ（絶滅危惧種に指定されている国の天然記念物である淡水魚）保護を地域課題として取り上げ、課題の現状分析やマーケティング活動等の交流を行った。専門家からの研修や助言を受けながら、大学生との交流等を通して、新たな企画の提案やブラッシュアップを行った。</p> <p>②地元企業、地元スポーツ団体との協力による課外実習活動 地元和菓子屋との共同開発商品『イタセンパラの蒸し菓子』のPRや販売を通して、体験的・実践的な学習活動を実施した。販売実習活動を通して「岐阜県民の河川（清流）に対する意識の高さ」に気付き、「ふるさとを知ってもらおうきっかけ作り」について考察を深めることができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> イタセンパラの生態・繁殖の専門家やマーケティングの研究者及びそのゼミの大学生と関わり、専門的な知識を学んだ上で、イベント企画や新たな商品開発案などアイデアを創造できた。 今後は探究的な学びを深めながら本校の取組みを広めることで、地域課題の解決とともに地元の魅力の発信につなげ、地域社会と学校の相互の発展を目指したい。

大垣南高校 【普通科】
主な取組み
<p>①岐阜県のスポーツ団体との交流を通じて地域課題を解決する探究学習の実施 地元プロスポーツチームによる講演会を開催し、生涯スポーツとの出会いの場を設けた。また、各チームがどのように地域貢献活動を実施しているかの現状と課題を知り、高校生の視点で課題解決策を考案した。</p> <p>②岐阜医療科学大学によるワークショップ 岐阜医療科学大学によるワークショップを開催し、地域医療の現状や課題を知る機会を設けた。また、大垣市の医療に関するデータをいくつか提示し、高校生の視点で課題解決策を考案した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献を実施しているスポーツ団体・企業と交流することで、岐阜県が持つ魅力に気づくことができた。 学外の体験活動等に発展させるだけでなく、本校生徒の自己理解を促し、将来の目標設定に役立てていきたい。

大垣西高校 【普通科】
主な取組み
<p>①外部講師による探究活動に関わる講話・講座の受講 1年次生はNPO法人や大垣市役所から外部講師を招き、探究活動に関する初歩的な知識や、実際に地域が抱える課題やその解決への活動を学んだ。2年次生は、外部講師によるプレゼンテーション講座を受講し、効果的な発表のための知識・技術を身に付けた。</p> <p>②小グループによるテーマ別の探究活動 2年次で、生徒自身が興味をもつ課題について4～5人のグループで問いを設定し、探究活動を実施した。現状を把握した上で分析・仮説を設定し、解決策を考え、ICTを用いて発表した。今年度は、同様の活動を、対象地域の範囲を狭めた上で1年次でも実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を積極的に招くことで、生徒のモチベーションを上げることが出来た。 探究活動を通じ、地域への理解を深め、その魅力を再発見することが出来た。 今年度から1年次でも同事業に関わる探究活動が始まったので、今後も学年間で連携し、長期的な視点をもって活動に取り組めるように支援したい。

郡上高校 【普通科、農業科】
主な取り組み
<p>①郡上おどりをテーマとした修学旅行の企画 郡上おどりの準備に携わり郡上市主催のワークショップに参加するなど、郡上おどりの継承問題に目を向け、郡上おどりをテーマとした修学旅行を企画した。企画にあたって地域の方々と関わり、その企画は「観光甲子園」全国大会でグランプリを受賞した。</p> <p>②郡上かるたをモチーフとした障がい者の方々の作品をカプセルトイ（ガチャ）にて販売 障がい者施設を訪問し交流を深め、製作される作品のすばらしさを実感した。地域の方々の協力でカプセルトイを設置し、カプセルの中に障がい者の方々の作品を入れ、販売することができた。郡上市の魅力と障がい者の方々のアートのすばらしさを発信することができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決に向けて地域の方々とつながっていく中で、地域の方々の郡上への思いや高校生に対する温かな惜しみない協力を感じ、地域への愛着心を育むことができた。 ・1年次生の段階から地域と関わる活動を取り入れ、2年次生の取り組んだ活動を継続し、さらに深めたい。

武義高校 【普通科、商業科】
主な取り組み
<p>①出前講座や企業見学によるふるさとを知る試み 市内で活躍している本校OBや美濃市職員による出前講座を実施した。出前講座は全11講座開講した。また在校生の多い関市の協力で企業見学を実施した。これらにより、地域の課題や行政、企業等について学ぶことができた。</p> <p>②地域に関する調べ学習 地域に関するさまざまなキーワードを設定し、そのキーワードから次なるキーワードを連想することでテーマに奥行きをもたせた。班ごとに設定したテーマについて調べ、ポスター形式で発表会を実施し、生徒同士で発表を評価した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生による意見や提案を、自治体に伝える体制作りができた。 ・講義や調べ学習によって自分たちが住む地域についての理解が深まった。 ・講師や講師への謝礼などの予算をどのように確保するか。またより深く探究したい生徒と自治体を結びつける体制をいかに構築するか、生徒の進路につなげるかが課題である。

加茂高校 【普通科、理数科】
主な取り組み
<p>①地域で活躍する大人による、生徒の興味を広げ深める探究活動 研究開発、政治、農業、IT、医療、教育の6つのテーマから一つを選び、生成AIを利用して少人数グループでの探究学習を実施。発表当日は、テーマごとに地域で活躍する方をゲストに招き、発表の講評とテーマに関する講演、意見交換を実施した。</p> <p>②美濃加茂市の将来と市庁舎建設に向けたワークショップを行い、提案する活動 美濃加茂市役所との連携、サポートにより実施。ファシリテーターを育成し、「高校生が描く市の最高の将来」と、そのために必要な市役所の機能等に関する6回のワークショップを実施した。各グループの意見を動画にまとめ発表会を実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力について再発見し、現状や課題について考察を深めることができた。 ・地域で活躍する魅力的な大人と接することによって、視野や価値観が広がり、進路に関する意識を高めることができた。 ・事前に実施したファシリテーター研修を通じて、探究活動のリーダーとなる生徒を育成することができ、探究活動がスムーズに進行した。 ・調べ学習の域を出ない発表もあり、グループによりレベルの差が見られた。過去の研究例の提示、探究学習の進め方等の事前研修の機会を設けるなど、質の向上に努める。

多治見高校 【普通科】
主な取組み
<p>①これまでの地域連携から新たに広がった連携 「観光学」ゼミがGPS機能を使ったクイズラリーを考えていた所で、多治見市のイベントでクイズを考えてほしいという企画があり、双方の要望がマッチする連携が新たにできた。</p> <p>②複数のゼミを1つにし、横断的に何かできないかという発想が実を結んだ 前年度まで、「町づくり」ゼミと「図書館」ゼミと別々であった2つの地域連携ゼミに大手コーヒーチェーン店との連携を加え、図書館に来た親子の子供の方にコーヒーの淹れ方を教え、親に子が提供するという企画を行った。図書館では、SDGsを昨年よりも意識し、廃棄本の表紙で葉を作成した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携が職員間でも浸透し、教員同士の情報共有や連携先のコーディネートが互いにできるようになった。 ・各種発表会が他学年交流を活性化し、外部にも開けたものにする事ができたため、連携先やその関係者から更なる連携の機会を提案していただくサイクルができてはじめた。

中津高校 【普通科】
主な取組み
<p>①「中津高生が考えるSDGs」プロジェクト 地域課題に取り組む社会人をゲストティーチャーとして招聘し、生徒と関わりながら授業を担当していただいた。生徒はゲストティーチャーとの関わりの中で、地域の課題に気づき、解決するための方法を学び、作品や雑誌、プレゼンテーションを作成し、発表を行った。</p> <p>②地域探究チームの活動 中津川市と連携し、地域活性化のために活動を行った。地域のイベントにスタッフとしての参加や、駅前を過ごしやすい場所に変えるために、ベンチの設置やイルミネーションの制作・設置を行った。また中津川市立中学校に訪問し、探究活動を中心とした出前講座を行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教員ではなく、外部地域人材を講師として迎えたことで、生徒も新鮮な気持ちで興味をもって取り組むことができた。 ・昨年度9名で始動した「地域探究チーム」は、今年度28名となり、活性化した。地域と学校をつなぐ大切な活動であり、来年度以降も継続する。しかし、特定の教員が中心となって企画・運営全般の大部分を担当しているため、引継ぎ等が難しい。

益田清風高校 【普通科、商業科、総合学科】
主な取組み
<p>①高校生の視点で考える地域課題解決に向けての探究活動 地域課題の5分野（①地元（下呂市等）を楽しくするには②地域の防災に貢献するには③若者が地域で働くには④地域の医療や介護を支えるには⑤人口減少に対応するには）から1つを選び、具体的な課題を設定して個人探究活動を実施した。</p> <p>②各学科・各系列の学習を活かした地域課題の解決方法を提案する探究活動を実施 日頃の学習内容と地域を関連付けた個人テーマを設定し、現地調査を実施することによって地域理解を深めた。また、事前学習として下呂市農林部林務課や森林組合の方に講演していただき、地域特性の理解を深めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題に目を向けることによって地域理解を深めることができた。地域人の一員として何ができるのかを考えることで、地域貢献について考えることができた。 ・全体で取り組んだ事前学習以外にも各学科・各系列で地域資源を活用し、様々な地域人と繋がり学ぶ機会を作ることができた。 ・提案の裏付けとなる客観的データの収集方法や資料の作り方の工夫が必要である（現地調査やアンケートの実施、実験、インタビュー等）。

成果と課題

地域についての課題意識や地域への帰属意識などを醸成する活動を進め、地域の魅力や課題を再発見することができた。また、探究学習を通して進学や就職等についての目的意識にもつなげることができた。これまでの研究や講演等を生かした地域との実践的な活動を増やしていけるかが課題となる。

■ グローカル探究実践事業

文系・理系の枠にとらわれない探究的な学び（STEAM教育）を通じて、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力の育成を図る。

岐阜北高校 【普通科】
主な取組み
<p>①岐阜県の地域の魅力や課題の探究活動（1年次探究） 「#やっぱ岐阜やおね」をキャッチフレーズに、10に分けられた岐阜の地域の魅力について、ふるさと魅力体験事業による県内施設訪問なども活用し、それぞれの興味関心に合わせて調査・発見した上で、その魅力を発信する方策を考えた。</p> <p>②SDGsの目標を達成するための探究活動（2年次探究） SDGsの17の目標から興味関心に合わせたテーマを選び、日々の授業やフィールドワーク、名古屋大学の留学生との交流などを通して課題解決の方策をグループで探究した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に調査した事柄について実際に体験したりインタビューしたりすることで、新たな発見があった。 ・次年度は、探究した内容について地域の方などに提案する機会等を設けるようにしたい。

長良高校 【普通科】
主な取組み
<p>①岐阜大学および地元企業・NPO法人との連携によるフィールドワークを実施 本校周辺の観光・産業スポットをフィールドワークで訪れ、岐阜市の現状を知り、岐阜市の魅力を再発見するとともに課題となる問題点を確認し、検証したことをもとに、持続可能なまちづくりのための解決策についてまとめた。ポスターセッションでは、大学の所属の有識者よりご高評いただいた。</p> <p>②県内の大学の教員及び学生の指導助言を踏まえた探究活動を実施 地元企業による講演会やワークショップを実施し、SDGsについて知見を深めた。岐阜大学の教員や学生の指導助言をふまえ、SDGsと関連させ、岐阜の課題の原因や問題の特定化を行った。英語のプレゼンテーションコンテストでは、大学の所属の有識者が審査員となり評価いただいた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を通して、岐阜の魅力を再発見するとともに、課題発見や解決策について考え、地域について理解を深めることができた。 ・他教科との連携をさらに図り、探究活動を充実させていきたい。 ・地域住民や中学生などに探究活動の取組みについて発信していきたい。

加納高校 【普通科、音楽科、美術科】
主な取組み
<p>①NPO法人と連携した探究学習を実施 NPO法人と協力して、2年生で協働学習を実施した。リベラルアーツと称して、地域課題を基本としながら、生徒が関心をもつテーマを掘り下げ、全体会でそれぞれがプレゼンテーションを行い、たがいに交流した。</p> <p>②民間企業や大学と連携して地域課題を国際的な観点で学ぶ探究学習を実施 民間企業や県内の大学との連携のもと、現地工場やマレーシア国民大学を訪問し、地域課題と国際社会との結びつきを学ぶ探究学習を実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通じ、社会で必要な学びや学校以外での学びの重要性を経験することができた。 ・外部団体との連携による連絡・調整に時間を費やした。

大垣北高校 【普通科】
主な取組み
<p>①「大垣市未来ビジョン計画」に基づく課題解決 大垣市役所による出前講座「大垣市未来ビジョン」に基づき、地域課題解決に取り組んだ。銀行の実践報告から得たプロセスを参考に、地域の活性化を目指した。また、探究の時間をきっかけにスタートした「大垣北Jrベースボールラボ」での取組みを、スポーツ庁が主催した第3回「Sport in Life アワード」団体部門で発表し、優秀賞を受賞した。</p> <p>②グローバル世界で活躍するための思考作り 海外進出をしている企業や海外で実務経験のある大垣市民病院の医師や大学教授による講義を実施した。各自が取り組むテーマに各々の専門分野の方々から助言を受けた。進路と結びついた探究活動を実施し、より広い視野を養った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズを知り、継続性のある取組みの必要性を実感した。 ・進路決定をした3年生が探究活動を継続し、さらに深めている。 ・探究活動や内容には差が生じ、課題発見、テーマ設定に対するサポートが必要である。

可児高校 【普通科】
主な取組み
<p>①一般社団法人と連携した探究学習の実施 一般社団法人と協業し、社会課題をビジネスで解決を目指す方々から探究サイクルを学んだ。また、アンバサダートークを実施した。ベンチャーキャピタリストとしてゼブラ企業を育成する話等の刺激を得て、後期からの1年生はグループ探究、2年生は個人探究に備えた。</p> <p>②有志生徒集団「エンリッチコアメンバー」の活動 エンリッチコアメンバーの活動として、可児市役所と連携して可児市教育委員会「スマイリングルーム」との交流活動「学びのとびら」や、地元企業との連携による企業PR動画の作成、「可児DAO」（ブロックチェーンを活用した自律分散型組織）の社会実装に向けた実験検証、多文化フェスティバルへの参加などを行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・2学年合同のゼミ形式による総合的な探究の時間を実施した。2年生にメンターの位置づけを期待し、1年生にとってもロールモデルに触れる機会を提供できた。 ・行事等で2学年別々に実施することもあり、運用面でのスリム化・内容の精選が必要であると感じた。

恵那高校 【普通科、理数科】
主な取り組み
<p>①恵那田舎塾「マルシェを通じた田舎作り」 地域で「たべとるマルシェ」企画運営する方々や恵那市役所農政課の方と、現在地域社会学を研究する本校卒業生とのセッションを開き、生徒も討論に参加した。</p> <p>②恵那田舎塾「クラフトビールで地域を潤す！～職業名ではなく、今、「私」にできること～」 ニューヨーク留学、青年海外協力隊、報道記者の経験を経て、現在地元でUターンし、クラフトビールの販売をする企業の経営者を講師として招き、男女共同参画社会におけるアントレプレナーシップ（起業家精神）を学ぶ機会とした。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「マルシェのように地域のイベントに参加するといろんな繋がりを持つことができ、より地域の良さに気づけると学べたので、今後も地域のイベントに積極的に参加したい。」「職業名に囚われずに将来自分のしたいこと、できることを考えるということ自分の軸ができ、いろんなことができるという事。」などの関心や気づきを得る事ができた。 ・今後の生徒の変容を見届けることを課題としている。

成果と課題

地域や学校の特徴に応じた探究活動を展開し、外部機関との連携により社会課題の解決に向けた取り組みを実践した。課題を発見・解決する力や、表現力・発信力の育成が図られた。取り組みの成果を校外や地域へ積極的に発信することが求められる。

■ 地域共創フラッグシップハイスクール事業

豊かな語学力・コミュニケーション能力、異文化理解の精神等を身に付け、地域創生などの様々な分野で活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る。

岐阜商業高校 【商業科】
主な取り組み
<p>①スポーツビジネスを通して地方創生を行う探究活動を実施 地元プロスポーツチームと連携し、スポーツビジネスを通じた地方創生について探究活動を実施した。スポーツビジネスの概要や現状を分析するとともに、現地視察を通してチームの問題を把握し、地元企業と連携してチームの活性化案を企画・提案した。</p> <p>②インバウンド需要を取り込む探究学習を実施 インバウンド需要の復活を期待し、台湾の訪日教育旅行を岐阜に招致するために「台湾日本の観光物産博2023」へ参加した。会場では商談会で岐阜が訪日教育旅行先に適していることをアピールすることができた。PR活動で本校の紹介を英語で行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツビジネスの現状を把握するとともに、企業と協働で問題点や今後の方向性を探究し、プレゼンテーションすることができた。 ・岐阜の魅力を調査し、PR冊子を作成することができた。来年度来日予定の学校もあり、企画・提案した内容を具現化していきたい。

関高校 【普通科】
主な取り組み
<p>①「地域課題とSDGs」をテーマに、1・2年次生が課題解決型研究を実践 地域内の事業所やNPO法人、行政機関等の協力を得て、地域におけるSDGsの実現をめざし、課題解決型研究を行った。1年次は個人（日本語使用）、2年次はグループ（英語使用）で成果をまとめ、各クラスの代表による口頭プレゼン大会、及びポスターセッションを実施した。</p> <p>②家庭科授業と連動させた「農業の応援団」活動を地域とともに実践 地産地消や農業振興を通じて地域活性化をめざす「農業の応援団」活動を、2年次生全員及び1・3年次生有志で行った。特産品を使用した商品開発、レシピコンテスト、子ども食堂、市内事業所と連携したマルシェ等、活動も多彩であった。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」を活用した課題解決型研究に、1・2年次生全員が取り組めた。 ・まちづくりへの寄与を目的とするフロントランナーが、各種の活動で着実に成果をあげた。 ・SNSを活用した情報発信を、行政機関や事業所と連携しつつさらに充実させたい。

多治見北高校 【普通科】
主な取り組み
<p>①地元研究の実施 1年生の総合的な探究の時間に、修学旅行先である沖縄を研究するため、「沖縄研究」を深めるための素材づくりと比較調査の体得と、産業、生活、都市、歴史、文化、自然・環境・科学から1分野を選び、探究する姿勢の形成を目指す活動を行った。</p> <p>②図書館講座の実施 商店街の書店で、多治見市観光協会の方から街の情報発信やイベント運営など、「まちを元気にする」事業について講義を受けた。また、多治見市モザイクタイルミュージアムを訪れ、身近な施設や文化的遺産や産業について知り、地域について理解を深めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の特徴を探そうという姿勢が強まった。 ・空き店舗を活用するなど“もともとある魅力”を活かすという発想が得られた。 ・一つの産業としてのタイルを通じて、新しい視点を持てた。

斐太高校 【普通科】
主な取り組み
<p>①斐太高校探究プロジェクトの実施 1年次生は、地域の自然、歴史に関する探究学習や大学教授等の講話を通じ、地域理解を深めた。2年次生は一人一人の興味・関心に基づいた探究学習を進めるなかで、地域企業、市役所、大学関係者、大学生約40名による相談会やインタビュー等を実施し、地域をフィールドに課題を見出したり、課題解決の糸口を地域の現状の研究に見出したりした。</p> <p>②地域で活躍される方々の講話や交流から探究心等を学ぶ人材育成プログラムを実施 1年次生を対象に、地域で活躍する方々の話を聞いたり、交流したりすることで、知らなかった地域の魅力や課題はもちろん、探究する姿勢を学び、生徒自らが価値観を創造し、将来につなげた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の外部機関との連携を充実させることで、これまで以上に地域で活躍する大人と生徒が交流でき、地域理解のみならず、身近なところで生徒が社会課題の現場と出会える機会を作ることができた。 ・多様な探究テーマに応じた指導のあり方の検討や取り組みの成果を発表する機会を地域内外で確保（成果発表会を除く）していくことがさらにできると良い。

成果と課題

地域や海外との連携を進め、校外での活動を通して、幅広い視野や考え方、課題を解決する力を育成することができた。各校の取組みの成果を学校間で交流することで、活動の更なる充実が期待される。

■ 理数教育フラッグシップハイスクール事業

理数分野における課題発見・解決学習のカリキュラム開発を通じて、主体的、協働的に自ら学ぶことができる人材育成を図る。

岐阜高校 【普通科】
主な取組み
<p>①理数系分野に関心を示す生徒に対し、専門的で高度な実験実習や研究を実施 企業研究者や、大学などの研究機関で最先端の分野で活躍する研究者を招き、実験や実習を通して高等学校で学ぶ内容を超えた高度な研究の一端を体験する講座を実施した。有志生徒によるチームで参加した化学工学会主催「Chemical-Energy-Car Competition 2023」の全国大会高校の部で準優勝した。</p> <p>②各種学習会や研究大会・コンクール等に参加し、他校の高校生や研究者との交流を実施 第13回科学の甲子園全国大会総合優勝を目指し、各種学習会を実施した。自然科学部の活動を盛んに行い、研究成果を各種研究発表会、学会（科学の芽賞、全国野生生物保護活動発表大会、全国総合文化祭など）で発表し、高い外部評価を受けた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・理数系分野に関する学習会、各種体験講座の実施、各種大会・コンクールへの参加によって、数多くの生徒が資質を磨き、研鑽することができた。 ・昨年までの3年間は規模を縮小して実施した科学の甲子園合同学習会を、共催の岐阜大学と調整し、以前と同じ規模で開催することができた。 ・コロナウイルス対策で中止していたマレーシア・ボルネオ海外研修を再度企画し、実施した。研修においては、生物多様性やSDGsについてより深く学ぶことができた。

岐山高校 【普通科、理数科】
主な取組み
<p>①「海津市南濃町の防災と生活の歴史」をテーマに野外実習を実施 理数科1年生の「理数探究基礎」において、海津市南濃町の砂防堰堤やマンボなどの利水施設、羽沢貝塚における観察・実習を実施した。直接自然に触れることにより、正しい自然観を身に付けるとともに、科学的に思考する方法を学ぶことを目的とし、縄文時代からの地形変化と地域の水害の歴史を学んだ。</p> <p>②持続可能な開発目標(SDGs)と地域課題についての探究活動を実施 普通科1、2年生の「人間探究の時間」では、各教科と関連づけて「持続可能な開発目標(SDGs)」と地域課題についてグループ活動を実施している。生徒独自でテーマ設定と調査を行う2年生では様々な探究テーマがみられた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・調査活動の中でインターネット上の情報をもとにした調査が主となりがちで、インタビューや実地体験・調査にかかる時間確保や教員の支援体制などの構築が課題である。 ・統計資料の活用や校内でのアンケート調査などの取組みは増えてきており、より一層各教科の学びと関連付けて、テーマ設定や分析手法の場面で生かしていく取組みを進めたい。

岐阜農林高校 【農業科】
主な取り組み
<p>①岐阜県の森林・林業の現状の学習 金華山国有林、百年公園、岐阜県博物館、本巣市内の人工林などでの森林観察を通し、ふるさとの森林についての理解を深めた。県有施設での森林に関する研修や本巣市内人工林での間伐実習、地元企業での木材流通学習等を通し、林業について理解を深めた。</p> <p>②地元飲食店と連携した岐阜県産ジビエ及び徳山唐辛子の普及活動 本巣市内の飲食店が地元素材を使用して実際にメニュー化をする「ジビれるグルメグランプリ」に食品科学科が参加し、食品製造の学びを生かして岐阜県産のジビエと徳山唐辛子の普及を目的としたレシピを考案し6メニューを商品化できた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県内の関連施設、団体と連携し、ふるさとの森林の魅力について学び、岐阜県の林業の現状に触れることができた。 ・生徒が考案したレシピを地元の飲食店で実際にメニュー化できたことで、専門科目の学びを地域へ還元するとともに、生徒の郷土愛を育むことができた。 ・ふるさとについての事前学習に力を入れ、より地域に密着したレシピの考案につなげる指導が必要である。

大垣東高校 【普通科、理数科】
主な取り組み
<p>①海津市、岐阜協立大学と連携した清水池に生息するハリヨに関する学習と調査 理数科1年生が、地元大学の教授よりハリヨに関する講義を受けるとともに、海津市の清水池において、フィールドワークを行い、周辺住宅にチラシを配布し、啓蒙活動を行った。さらに希望者による研究班が清水池のハリヨに関する様々な調査を継続して実施し、そのデータを海津市教育委員会に提供した。</p> <p>②核融合科学研究所における研修 理数科2年生が、土岐市にある核融合科学研究所において、核融合及び核融合発電に関する講義を受け、施設を見学した。さらに、施設研究員の指導で実習を行うことにより、探究活動、研究活動についての理解を深めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を教材とした学習や調査活動を行うことで、自然科学を身近に感じるとともに、自分たちの住む地域の特色を体験的に学ぶことができた。 ・県内にある最先端の研究施設を訪れ、学習をすることで、最先端の研究に対する興味・関心を高めることができた。 ・県内企業との連携を図り、県内産業への興味・関心を高められる取り組みを取り入れたい。

成果と課題

総合的な探究の時間（理数科設置校は共通教科「理数」の時間）における理数系分野の研究テーマについて実践事例を蓄積することができた。今後は、これらの取り組みを県内で幅広く実施できるよう、成果の普及や共有が課題となる。

■ 地域産業の担い手育成総合戦略事業

実践的な体験等を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成や国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進する。

岐阜総合学園高校 【総合学科】
主な取組み
<p>①産官学連携の学びを活用して地域の課題解決・地域の活性化に向けた学習を実施 型枠工事、防災、土壁漆喰などの技術について地元企業から学び、国土交通省の体験フェアや県土整備部の地域技術者によるドローン講座、公共建築課のB I M講習などを通して地方創生について学んだ。大学との連携では、岐阜市南庁舎跡地の開発やまちづくりについて設計を実施した。</p> <p>②地元店との連携により起業と経営に焦点を当てた探究学習を実施 集客と起業をテーマに、地元のコーヒー店と洋菓子店の店主から、起業から経営に至るまでの講話を聴き、それをもとに共同で商品開発を行ったり、販売の実習を実施したりした。現場の見学に赴き、実際の様子を見聞きすることで、道の駅や大型商業施設の集客についても学習した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を通じて、地域産業の魅力を知るとともに、自分の将来について深く考え、具体的な進路へと結びつけることができた。 ・地域と連携するだけにとどまらず、地域の活性化につながるよう、学習内容を発信する場を設けるなど、活用する方法を見つけていきたい。

岐阜城北高校 【家庭科、総合学科】
主な取組み
<p>①地元アパレル企業の商品企画に参加し生徒の意見が反映された衣服を商品化 地元アパレル企業のティーンズ向け秋冬物衣服の商品企画に参加した。座談会にて商品のサンプルを参考に形や色、素材などについて、ターゲット層としての意見を提案し、商品に反映し販売していただいた。</p> <p>②山県市の特産品を用いたレシピを考案・食材の収穫・商品化および販売を実施 山県市の特産品である食材（山県ポーノポーク、野菜、七味こんにゃく、味噌）を用いた豚汁のオリジナルレシピ「B00 B00汁」を考案した。実際に食材を収穫し、調理したものを11月実施の城北わいわい広場にて販売した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目の学習への興味・関心、学習意欲を高めると共に、地域産業の特徴を理解しその活性化について目を向けることができた。 ・今年度新たに行った事業であるため、今後これらを継続・発展していくために、地域や企業をどのように連携していくかが課題である。

岐南工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①地元企業による出前授業や現場見学会等の実施 地元企業で活躍する技術者を講師として招き、講演や実技指導を受けたり、工場や工事現場を見学し、実際に使っている機械等を間近で見ても操作することができ多くの学びの場を得る学習を実施した。</p> <p>②幼・小・中学校への、ものづくりの楽しさを伝える出前授業の実施 地元での各種イベントへの参加や、幼・小・中学校へ出かけ、児童・生徒や保護者等に、ものづくりの楽しさを伝え、出前授業を通して参加者と楽しく交流ができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業から様々な機会を作ってもらい、学びが多かった。 ・様々なイベントを通して校種間・世代間交流をする中で、参加者には工業高校の良さや学びを伝えることができた。 ・専門外の職業へ就くことや、県外の企業への就職を希望する生徒が多く、地元岐阜県の企業でその会社の担い手になろうとする生徒が少ないことが課題。

岐阜各務野高校 【商業科、福祉科、情報科】
主な取組み
<p>①地元医療法人との地域交流 地元医療法人にて、多文化共生をテーマにイベントを行った。3学科による課題研究の中間発表会を行い、地域の方々からコメントをいただき、その後の学習のまとめに役立てた。また、ビジネス科が商品開発したマフィンの販売、英語部やコンピュータ部、ボランティア活動部は多文化に関する体験ブースを設け、地域の来場者と交流した。</p> <p>②かかみがはら暮らし委員会との協働学習 3年生の課題研究の一環としてビジネス科・情報科・福祉科の生徒が合同で、毎時間の講師として、「かかみがはら暮らし委員会」のメンバーに授業の協力をしてもらった。現在の職業やこれまでの考え方・失敗談などについて話を聞くことで、地域で活躍する大人の姿を学んだ。また、課題研究の各テーマに関して、学び方や内容等に関するアドバイスをいただいた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・医療法人と企画したイベントは今年で3年目を迎えた。本校が学習成果や各活動の取組みを通して地域とつながる場として定着してきた。 ・各学科の課題研究の取組みの独創性が課題である。生徒たちがもっと地域を知り、生徒の目線から地域の課題を発見し、各学科の視点からアプローチできる取組みを行っていきたい。

岐阜工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①大学、企業や研究機関と連携したSTEAM教育の実践 大学、研究機関と連携して、小型人工衛星を開発・製作する「ぎふハイスクールサットプロジェクト」に参加した。各分野の専門知識と経験を持っている大学の先生の指導により、来年度の打ち上げに向けて、筐体の実験・検証し、より多くの開発スキルを身につけることができた。</p> <p>②建設業における担い手の育成を見据えたBIMを活用した探究学習の実施 笠松町歴史未来館と連携し、現存していない歴史建造物（笠松陣屋）について古図面をもとに再現化し、地域イベントで小学生や地域住民に対しBIMで作成した建築物のVR体験を実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・産学の連携が自然にできるようになっており、教材としての技術資源を余すことなく生徒のために活用できた点が大きな成果である。 ・VR技術の習得から応用へと探究学習の幅を広げ、それを地域の魅力発信につなげることであったが、今後はより多くの授業の中でVR学習の機会を増やし、地域の協力も得ながら、地元で貢献できる技術者を育成したい。

大垣養老高校 【農業科、総合学科】
主な取組み
<p>①総合学科における地域産業の課題を解決する探究活動の実施 地域の産業の茶業にスポットを当て、お茶の栽培工程、製茶工程、日本茶の入れ方、お茶を利用した加工品などを見学、生産者からの茶業状況の講義の後、生徒が茶葉を利用した加工品を開発し、地元のお茶産業を盛り上げる6次産業化の活動を行った。</p> <p>②農業科における地域企業との農場生産物の6次産業化の取組みと農福連携の実施 地元の製菓会社と連携し、生徒がアイデアを出し、学校で栽培した生産物の加工、販売や、地元小学校で稲栽培による食育活動、特別支援学校との田んぼアートの作成、野菜栽培の体験、高等特別支援学校との共同での商品化活動など「農福連携」という形で地域貢献につながる活動を行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題がわかり、地域産業を考え、地域産業に貢献するための取組みができた。 ・商品企画から流通実践までの一連の流れが学習できた。 ・地域の特別支援学校、高等特別支援学校との共同学習を通し、「農福連携」が実践できた。

大垣商業高校 【商業科】
主な取組み
<p>①お菓子の開発を通じて大垣市の観光PR 地元団体、企業と連携し、台湾バナナを利用したお菓子開発を通じて、今後の台湾からの誘客促進、インバウンド回復を目指して取り組んだ。また、お菓子の開発から販売までの流れについて実践活動を通して学習した。</p> <p>②環境SDGsおおがき未来創造事業に参加 環境SDGsおおがき未来創造事業に参加し、SDGsの視点（【12】つくる責任・つかう責任）をふまえ、廃棄されるクレヨン回収、マープルクレヨンとして再利用し、地元企業から提供していただいた残紙とともに地元保育園の園児とのお絵描き等に活用した。また、廃棄される紐と端切れを活用し、お正月用の「しめ飾り」を作成し、地域住民に配付した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の商業に関する専門科目で身に付けた知識・技術を活用し、地元企業・大垣市等と連携し、実践できた。 ・今年度の取組みを検証し、今後も「地域を支え、地域産業を担う資質・能力をもつ専門的職業人」の育成を目指し、ビジネス教育や探究活動をさらに充実させたい。

大垣工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①産業界との連携による地域資源(恵み)の発見や活用した実践 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、企業と連携協定を締結し、普段の授業においても地元企業有識者から知識や技術の修得を可能にした。今年度は、機械工学科・電子機械工学科・電気工学科・電子工学科・情報技術工学科で導入した。</p> <p>②地域団体との連携による地域資源(恵み)の発見や活用した実践 大垣特別支援学校との協働「テクノコラボレーション」、NPO法人等との協働「第21回こどもICT講座」、電子機械工学科・電気工学科の自作電車の運行を4か所のイベントで実施した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の多角的な取組みや、地域諸団体の意欲的かつ積極的な地域貢献活動について、知ることができた。 ・地域連携イベントに参加した生徒の自己有用感の向上に繋がった。 ・カリキュラムへの導入による全生徒への「ふるさと教育」の浸透をさらに促進させる。 ・地元企業への就職者数を増加させる。

大垣桜高校 【家庭科、福祉科】
主な取り組み
<p>①誰もが安心して暮らせる街づくりを目指した地域交流を実施 「キッズピアおおがき交流サロン」での乳幼児親子とのふれあい交流への参加、障がい者雇用に積極的な企業や高齢者施設への訪問など、人々との触れ合いを通して、子育て支援や誰もが働きやすい環境づくり、高齢者施設の防災など地域の魅力と課題について学んだ。</p> <p>②資源の循環を目指した探究学習を実施 資源の循環を目指し、草木や生ごみのたい肥を利用して栽培した野菜を使った料理やデザート の提案、販売や環境に負荷をかけないアップサイクルブランドへのデザイン提案を通して、身近にあるSDGsの取り組みを地域に広める活動を行った。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々や産業に触れ、「地域の魅力は人であり活気のある街、資源を大切にできる魅力ある街」を自分たちの力で創っていきたいという思いを再確認することができた。 ・SDGs活動の成果はすぐに表れないことを共通認識し、今後も活動を継続していくこと、本校の取り組みを発信していくことが重要である。

加茂農林高校 【農業科】
主な取り組み
<p>①地域由来の花から分離した野生酵母を活用した花酵母パン 大学や研究所と連携して実施している地域由来の花酵母の分離と利用の取り組みにおいて、これまでに分離した株の中から優良菌株を選抜し、花酵母パンの製造に取り組んだ。地域のパン屋に協力をいただき、本校のシダレザクラから分離した花酵母を使った花酵母パンを商品化することができた。</p> <p>②企業・地域自治体と連携し花束・花壇・アレンジメント・B級グルメで地域活性化活動 花夢館と連携して、公共施設、商業施設で高校生が顧客の目の前で花束を廉価で販売する花き振興事業を中軸に、市内の花壇作り、アレンジメントによる市内施設の花飾活動、及び地元B級グルメ「美濃加茂焼きそば」を屋台で販売する実習活動を展開し、地域活性化に一役買っている。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関と役割分担ができた。生徒の課題解決能力や郷土愛を深めることができた。 ・授業の一環であり、連携先も遠方であるため、醸造試験等活動時間の確保が難しい。 ・多数の公共施設や商業施設で展開し高評価を得た。

東濃実業高校 【商業科、家庭科】
主な取り組み
<p>①地域の民話をもとに紙芝居を作製、読み聞かせ（生活デザイン科） 地域の民話を図書館などで調べ、子どもたちにわかりやすく伝えるために絵や言葉の表現などを工夫して紙芝居を作製した。その紙芝居は、御嵩町や地域活性化に取り組む団体などが主催するイベントなどで披露した。</p> <p>②地元団体主催の行事への参加（商業科） 地元主催行事に数多く参加した。伏見公民館夏祭りでは、地域の子どもたちに楽しんでもらえるよう風船ヨーヨー釣りを企画・実施し、小中学生に好評であった。また、地元企業等と協働して開発した、地元の産品や伝統を生かした商品を、イベント等の際に販売した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が深まり、地域の魅力を再認識することができた。継続的な活動にしていきたい。 ・コロナ明けで数年ぶりに再開した行事が多く、生徒も教員も主催者も試行錯誤しながら取り組んだ。臨機応変な対応が迫られる場面もあり、実践力が養われる経験ができた。 ・生徒は「課題研究」で「あなたに伝えたい御嵩町」をテーマに取り組んでいる。地元の魅力を発掘し発信することで、生徒たちの「郷土愛」を育みたい。

可児工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①地元企業や大学との技術連携により地元産業を支える技術者を育成するための取組み 地元企業や大学から専門的な講師を招聘し、旋盤技術や人工知能、環境素材、ドローン操作等「ものづくり」に関する技術教育を受けた。また、生徒が地元企業や大学を訪問し、先端技術に関する講習会や見学会等に参加するなど、連携によってものづくりに関する理解を深めた。</p> <p>②中長期インターンシップの実施による専門的技術の習得のための取組み 「中長期インターンシップ」として地元企業と連携し、インターンシップを行った。実際の建設現場や設計事務所などでの作業、また、実際に工場の生産ラインなどに入り作業する中で、専門的技術ならびに地元企業に関する理解を深めた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業や大学との地域連携事業を通じ、ものづくりへの関心や、地元企業の魅力を再認識する大変良い機会になった（生徒アンケートより）。 ・学校からの働きかけや成果発表だけでなく、企業や行政の視点からみた検証や研究、働きかけこそが地域課題解決のための重要なパラメーターとなるため、今後も引き続き地域課題に対する危機感を各機関で共有し、それぞれでの積極的な働きかけがなされていくことを切望する。

多治見工業高校 【工業科】
主な取組み
<p>①地元中学校への出前授業の実施 地元の中学校へ各学科の生徒が講師になり、ものづくりや学科に関する体験授業を実施した。超伝導体の実験や立体的に表現するデッサンの方法・ハンドロボットのプログラム体験・電動カーの試乗体験など、多岐にわたるテーマを提示し、中学生が希望する授業を受けられるように展開した。</p> <p>②地元小学校への環境教育の実施 地元の小学生と共に、小型の水力発電機を組み立て、校庭にある河川での発電・LEDランプの点灯式を実施した。高校生が講師になり、SDGsに関する学習も実施した。小学生に理解できるようにプレゼンも工夫し、実際の組立でも様々な配慮をする体験ができた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が分かりやすく授業をするために、相手の立場になって考えることが多くあり、コミュニケーション能力の伸長に大きな効果があった。 ・多くの小中学校に実施の希望調査をするが、実施依頼をされる学校が少ないことが課題。学校のクラス数によっては遠慮されている可能性もあり、柔軟に対応できることをPRしたい。

土岐商業高校 【商業科】
主な取組み
<p>①土岐商サイダープロジェクト 地元企業とタイアップして、ご当地サイダーを開発し、さらに「土岐商サイダーフォトコンテスト」を開催。産官学民の取組みで、人と地域を繋ぐ仕掛けづくりを展開した。</p> <p>②情報で地域と人と食を繋ぐ研究 オンラインショップを開設し、地元企業と共同開発した商品を販売した。SNSによる広報活動による顧客の獲得と売り上げの向上の相関関係を研究した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も数値やデータをもとに持続可能で自走可能な取組みを展開していきたい。 ・土岐商サイダーの販路を、土岐市を中心に約30店舗まで拡大できた。3年目を迎えた土岐商サイダーフォトコンテストでは約130の投稿を得られ、岐阜県の特産品として扱われるだけでなく、世界でも流通した。 ・取組内容をまとめた研究発表で、東海地区生徒商業研究発表大会に出場した。今後、開設したオンラインショップのSNSとの連動での効果検証を進めていく。

飛騨高山高校 【普通科、農業科、商業科、家庭科】
主な取り組み ①地元企業及び自治体と連携し、地域の魅力や課題を把握する探究学習を実施 高付加価値旅行者の誘客がこの地域の課題であり、地元高校生の視点をもって地域の伝統、文化や自然の価値を再認識し魅力を発掘するとともに、価値をビジネスに繋げるための学習を実施した。
②地元企業と連携し、地産地消を目的とした商品のアイデアを提案 地域のスーパーマーケット等と協働し、それぞれの企業が販売する食材や商品を使用したレシピ考案や、地域の魅力を発信するための商品の企画・立案を行った。
成果と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通じ、地域の事業者、自治体、団体、観光協会の方や地域の歴史・文化の専門家の方との連携関係を構築し、この地域ならではの魅力を深く掘り下げることができた。 ・今後は、地域の魅力や課題などについて研究した結果を、地域活性化に繋げることができる提案をしたい。また、本校の取り組みを中学生などに伝え、本校の魅力を発信したい。

成果と課題

学校・学科の特徴を活かし地元企業等と連携した取り組みを通して、地域課題等の解決をテーマに、地域理解を深め、授業で身につけた知識・技術の活用及び向上を図ると共に、将来の地域産業の担い手となる学びを実施した。今後も、更なる探究的で深い学びとなる取り組みの実施を推進するとともに、将来の産業、地域の産業を担うことのできる人材育成に努めていく。

■ 清流の国ぎふ、ふるさと魅力体験事業

「ふるさと岐阜」への愛着を育むふるさと教育の一貫として、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、岐阜関ヶ原古戦場記念館など、県の自然・歴史・文化・産業等に関する施設や史跡等を訪れ、体験活動や教育プログラム等を実施することにより、岐阜県の魅力を新たに発見し、見識を広げた。令和元年度からの5年間で全県立高校 63 校が実施完了した。

(2) その他の事業等

■ 県立高等学校の魅力発信

○ キャリア・チャレンジDay

実施内容：中学生が専門学科や総合学科での学びの特色や魅力を知り、社会における自己の役割や将来の生き方について考えられる内容を盛り込んだ体験講座を実施。

【内容例】 ・専門高校ならではの体験講座や体験実習
・専門高校で学ぶ魅力や職業に対する考え方を、高校生が自らの体験を交えて紹介

実施日：夏季休業中、土日祝日などに年間2～4回程度実施

実施会場：各専門学科及び総合学科設置校32校（107学科）

参加人数：のべ11,856人

○ 高等学校フェア

実施内容：中学生が将来への見通しをもって高校選択ができるよう、高校生が、学校の魅力や探究活動の成果等を発表する合同学校説明会を実施。

【内容例】 ・高校生が、各学校の特色やふるさと教育、探究活動等における取組みの成果を発表
・各校の特色ある取組みの紹介

実施日：多治見地区…11月12日（日）

恵那地区…1月27日（土）

参加人数：中学生・保護者のべ680人

○ 県立高等学校の案内に関するリーフレット（参考資料4）

県立高等学校の特色やふるさと教育、ICTの活用等を紹介したリーフレットを作成し、県内の中学校、特別支援学校に配付し、県立高等学校の魅力について周知した。

■ 進学指導推進事業（平成29年度～）

普通科を設置している高校を中心に、多面的・総合的に評価・判定することを基本方針とする大学入試制度に対応できる生徒の学力や教員の進学指導力の向上を図っている。

○ 進学指導重点校事業：指定校を見直し、12校に精選して実施

令和4年度：長良、岐山、羽島北、各務原、各務原西、大垣東、大垣西、郡上、関、多治見、多治見北、恵那、中津、斐太

令和5年度：長良、岐山、羽島北、各務原、各務原西、大垣東、大垣西、郡上、関、多治見北、恵那、斐太

○ 進学指導連携事業：大学進学指導連絡協議会への支援

大学進学指導連絡協議会幹事校：岐阜、岐阜北、大垣北、関、可児、多治見北、恵那、斐太

○ 県総合教育センターによる専門研修事業

県総合教育センター講座の研修として、大学入試問題の分析とそれに基づく効果的な学習・指導方法の在り方を研究する講座を引き続き開設した。

■ 高等学校における演劇等ワークショップ事業

近年、コミュニケーションが苦手であることを原因として、学業や対人関係に行き詰まりを感じる生徒や、急速な社会のグローバル化に伴い日本語能力が十分でない外国人生徒が増加している。このような生徒に対し、演劇手法を用いた協働活動を通してコミュニケーション能力や自己表現力の向上を図るため、令和5年度は13校において、プロの演出家や俳優等を講師として招聘し、演劇表現のワークショップを実施した。

平成30年度～：山県、羽島、揖斐、不破、東濃、恵那南

令和元年度～：郡上北、関有知、土岐紅陵、坂下、飛騨高山（山田キャンパス）、飛騨神岡

令和2年度～：華陽フロンティア（定時制）、飛騨高山（定時制）

(3) 令和6年度県立高等学校入学者選抜の改善（参考資料5）

平成30年度県立高等学校入学者選抜から、県外からも意欲の高い生徒が入学することで生徒同士がより切磋琢磨できるなどの教育効果を期待して、県外からの生徒募集（以下、県外募集という。）を実施している。令和3年度県立高等学校入学者選抜からは、募集分野を見直し、特色ある教育や部活動に加え、全国で活躍する部活動を実施する学校においても県外募集を行っている。

令和6年度県立高等学校入学者選抜では県外募集対象校に新たに土岐商業高校と中津商業高校の2校を加え、計21校において「特色ある教育」「全国で活躍する部活動」の各分野で県外募集を行った。

また、県外募集の周知については、ホームページで実施校を紹介するなど広報活動に努めた。

＜令和6年度県立高等学校入学者選抜における県外募集実施校＞

「特色ある教育」での募集		「全国で活躍する部活動」での募集	
学 校	分 野	学 校	分 野
加 納	音楽、美術	羽 島 北	フェンシング
多 治 見 工 業	セラミック	岐阜総合学園	ホッケー（男子）
恵 那 農 業	ふるさと教育 （食、花と緑）	岐 阜 城 北	硬式野球（男子）
坂 下	福祉	岐 阜 商 業	硬式野球（男子）
益 田 清 風	ふるさと教育 （地域文化伝承）	岐 南 工 業	自転車競技
高 山 工 業	建築インテリア	岐阜各務野	ホッケー（女子）
		大 垣 南	フェンシング
		大 垣 東	水球（男子）
		大 垣 商 業	体操
		海 津 明 誠	ヨット
		関 有 知	ライフル射撃
		加 茂	ボート
		土 岐 商 業	ウェイトリフティング◎
		中 津 商 業	スケート◎
		飛 驒 神 岡	ロボット

◎は令和6年度からの新規募集開始

＜県外募集による入学実績＞

入学年度	入学実績
平成30年度	1名 加納（音楽1）
平成31年度	4名 加納（音楽1）、東濃（ロボコン1）、恵那農業（園芸1）、坂下（福祉1）
令和2年度	5名 加納（音楽2）、海津明誠（ヨット1）、恵那農業（ふるさと教育1）、高山工業（建築インテリア1）
令和3年度	12名 岐阜城北（硬式野球3）、岐阜商業（硬式野球4）、岐阜各務野（ホッケー1）、大垣南（フェンシング1）、益田清風（ふるさと教育・地域文化伝承1）、高山工業（建築インテリア2）
令和4年度	19名 加納（音楽1）、岐阜総合（ホッケー3）、岐阜城北（硬式野球4）、岐阜商業（硬式野球2）、岐阜各務野（ホッケー2）、大垣南（フェンシング2）、大垣商業（体操1）、多治見工業（セラミック1）、恵那農業（ふるさと教育・食、花と緑1）、益田清風（ふるさと教育・地域文化伝承1）、高山工業（建築インテリア1）
令和5年度	11名 加納（音楽1）、岐阜総合（ホッケー1）、岐阜城北（硬式野球1）、岐阜商業（硬式野球1）、岐南工業（自転車競技1）、岐阜各務野（ホッケー2）、大垣東（水球2）、恵那農業（ふるさと教育・食、花と緑1）、益田清風（ふるさと教育・地域文化伝承1）

3 来年度以降の取組み

(1) スクール・ミッションの再定義について

令和3年1月中央教育審議会答申「「令和の日本型教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）」において、「学校の歴史や伝統、現在の社会や地域の実情を踏まえて、また、20年後・30年後の社会像・地域像を見据えて、各学校の存在意義や各学校に期待されている社会的役割、目指すべき学校像（いわゆる「スクール・ミッション」。）を明確化する形で再定義することが必要である」旨の提言がなされ、同3月学校教育法施行規則の一部改正により再定義が努力義務とされた。岐阜県では来年度から第4次岐阜県教育振興基本計画を進めるにあたり、本計画の内容をもとに、学校運営協議会等での意見も踏まえて、令和6年度中にスクール・ミッションを再定義し、公表する。

(2) ふるさと教育の推進について

令和6年度は、次頁のとおり事業対象校を1校1事業とし、これまでの事業を継続・継承する形でふるさと教育の体系を再整理した。

第4次岐阜県教育振興基本計画においても、「「ふるさと岐阜」での活動を通して学ぶふるさと教育の推進」を重点施策として位置付けており、引き続き、この体系図に基づき、地域と学校が一体となった教育活動を通して、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する探究的な学びを推進する。

令和6年度 県立高校における岐阜県型探究学習（ふるさと教育）の体系

これまでの取組

理数教育フラッグシップ・ハイスクール

理数分野における課題発見・解決学習のカリキュラム開発を通じて、主体的・協働的に自ら学ぶことができる人材を育成

地域共創フラッグシップ・ハイスクール

豊かな語学力・コミュニケーション能力、異文化理解の精神等を身につけ、地域創生などの活躍できる人材を育成

グローバル探究実践

文系・理系の枠に捉われない探究的な学びを通じ、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成

地域課題探究型学習推進

産官学で連携し、地域課題を発見し、解決を目指す実践的な学びを通じて、社会を主体的に生き抜く人材を育成

地域産業の担い手育成 総合戦略

実践的な体験を通じ、地域産業を担う専門的職業人の育成や国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進

地域連携による活力ある 高校づくり推進

学校の活性化に向け、地域と連携した取組を通じ、探究的な学びを推進。地域創生の担い手となる人材を育成

R6年度 探究学習推進事業

理数教育フラッグシップ・ハイスクール事業 7校

地域の教育資源等を活用した探究活動を通じ、科学的思考力・判断力・表現力を培う理数教育を行うことで、将来、国際的に活躍する科学技術人材を育成

岐阜・岐阜北・岐山・大垣北・大垣東・多治見北・恵那

グローバル探究フラッグシップ・ハイスクール事業 5校

教科横断的な考え方やグローバルな視点をもって身近な社会課題等について探究することを通して、様々な分野で活躍できるリーダーを育成

長良・加納・関・可児・斐太

地域課題探究推進事業 11校

地域の教育資源等を活用した探究活動を通じ、主体的に課題を発見し解決を図る能力を有する人材を育成

羽島北・岐阜総合学園・各務原西・本巣松陽・大垣南・大垣西・郡上武義・加茂・多治見・中津

地域産業の担い手育成総合戦略事業 20校

・AIやIoT等を活用した最先端の知識・技術を身に付け、産業界の次世代を担い、第一線で活躍する人材を育成
・地域の多様な課題への対応力や、地域資源を用いたブランド形成力を培うことで、地域や地元企業を知り、将来の地域産業界を担う専門的職業人を育成

<基幹校>

岐阜商業・岐阜農林・岐阜工業・大垣桜

岐阜城北・岐南工業・岐阜各務野・大垣養老・大垣商業・大垣工業
加茂農林・東濃実業・可児工業・多治見工業・土岐商業・恵那農業
中津商業・中津川工業・飛騨高山・高山工業

【新】COREハイスクール (Collaborative Regional High school) 事業 18校

持続可能な地域創生の核 (CORE)として、地域と連携した探究的な学びを展開し、地域や学校の魅力を再発見し、地域の活性化に貢献できる人材を育成

各務原・山県・羽島・揖斐・池田・不破・海津明誠・郡上北・関有知
八百津・東濃・瑞浪・土岐紅陵・恵那南・坂下・益田清風・吉城
飛騨神岡

教育課程の編成や学校経営計画の承認 探究学習への参画

【継】学校運営協議会設置費

学校・保護者・地域の連携を強化し、学校運営に積極的に関わることで、学校と地域の活性化を図る

全県立高校・特別支援学校

「ふるさと岐阜」で学んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

＜令和6年度ふるさと教育の体系＞

(3) 演劇等ワークショップの拡充について

これまでも演劇等ワークショップの実施により、他者を理解しようとする心の育成や人間関係の構築スキル等の向上について、一定の効果があったと考えられる。そのため、来年度以降、現在実施している13校に6校を加え、幅広く演劇表現等のワークショップ（文化的処方）を実施することにより、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図り、自己肯定感・自己有用感を育む。

継続実施：山県、羽島、揖斐、不破、郡上北、関有知、東濃、土岐紅陵、恵那南、坂下、飛騨高山（山田キャンパス）、飛騨神岡、華陽フロンティア（定時制）、飛騨高山（定時制）

令和6年度～：岐阜、八百津、瑞浪、高山工業、加茂（定時制）、東濃フロンティア（定時制）

(4) 遠隔授業の実施について

教育機会の確保や、多様かつ高度な教育に触れる機会の提供を目的として、令和6年度より、4校（海津明誠、郡上北、恵那南、飛騨神岡）において、遠隔授業のための機器を導入し単位認定を伴う授業での運用（令和7年度より本格運用予定）を前提とした実証研究を行う。

(5) 併設型中高一貫教育について（参考資料3）

令和5年9月、公立小学校6年生とその保護者、公立学校長等を対象に「県立の中高一貫教育校に関するアンケート調査」を実施した。

小学校6年生については、「入学したい」と回答した割合は12.1%で、前回までの調査と大差ない一方、「入学したいと思わない」は大幅に減少し、「わからない」が増加した。また、保護者においては、「入学させたい」と回答した割合は29.8%で前回より減少した。また、そのうち「大学入学に有利となりそう」と回答した割合も減少した。さらに、公立学校長においても、県立の中高一貫教育校について「必要だと思う」と回答した割合は減少し、高等学校で重視する教育内容として「大学進学のための学習」と回答した割合も減少した。

これらの結果から、併設型中高一貫教育校に対するイメージにやや変化が見られるものの、顕著なニーズの高まりは見られないことから、引き続き県内ニーズや全国の設置状況の把握に努めていく。

4 おわりに

県教育委員会では、平成 28 年度以降、県立高校の活性化や、ふるさと教育に関する取組内容、次年度以降の活性化策や検討課題等を「検討まとめ」として取りまとめ、年度ごとに発表してきた。

本年 3 月、令和 6 年度からの 5 年間を計画期間とする「第 4 次岐阜県教育振興基本計画」が策定され、その中で「将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進」が重点施策に位置付けられており、今後は、令和 11 年以降の急激な生徒減少期を見据えた県立高校のあり方について、具体的な検討に着手する時期となる。

そのため、次年度以降の活性化策を示す役割も担ってきた本まとめは、令和 5 年度をもって休止とし、今後は、各地域の意見なども踏まえながら、中長期的な生徒数の減少、学びの機会の保障、多様な学習ニーズへの対応、校舎改築の時期を見据えた教育環境の整備などの視点から、県立高校のあり方についての具体的な検討を進めるとともに、引き続き、必要に応じて学科改編等の検討を行いながら、岐阜県型探究学習（ふるさと教育）を展開することで、地域に開かれた、活力と魅力ある学校づくりを推進する。

5 資料編

- ・ 参考資料 1 中学校卒業予定者数の推移（全体／地区別）
- ・ 参考資料 2 高校生の意識に関する調査結果
- ・ 参考資料 3 中高一貫教育校に関するアンケート結果
- ・ 参考資料 4 県立高等学校の案内に関するリーフレット
- ・ 参考資料 5 県外募集に関するチラシ、広報

参考資料 1	中学校卒業予定者数の推移（県全体／地区別）
--------	-----------------------

<全県>

令和5年5月1日 現在

<学校基本調査>

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
岐阜	7,375 前年比 R5.4比	7,467 92 92	7,156 ▲ 311 ▲ 219	7,291 135 ▲ 84	6,995 ▲ 296 ▲ 380	6,958 ▲ 37 ▲ 417	6,765 ▲ 193 ▲ 610	6,589 ▲ 176 ▲ 786	6,729 140 ▲ 646	6,506 ▲ 223 ▲ 869
西濃	3,239 前年比 R5.4比	3,329 90 90	3,153 ▲ 176 ▲ 86	3,140 ▲ 13 ▲ 99	3,161 21 ▲ 78	3,068 ▲ 93 ▲ 171	2,900 ▲ 168 ▲ 339	2,777 ▲ 123 ▲ 462	2,712 ▲ 65 ▲ 527	2,608 ▲ 104 ▲ 631
美濃	1,304 前年比 R5.4比	1,275 ▲ 29 ▲ 29	1,294 19 ▲ 10	1,251 ▲ 43 ▲ 53	1,344 93 40	1,202 ▲ 142 ▲ 102	1,217 15 ▲ 87	1,113 ▲ 104 ▲ 191	1,066 ▲ 47 ▲ 238	1,019 ▲ 47 ▲ 285
可茂	2,124 前年比 R5.4比	2,095 ▲ 29 ▲ 29	2,074 ▲ 21 ▲ 50	2,141 67 17	2,103 ▲ 38 ▲ 21	2,099 ▲ 4 ▲ 25	2,033 ▲ 66 ▲ 91	2,020 ▲ 13 ▲ 104	1,954 ▲ 66 ▲ 170	1,910 ▲ 44 ▲ 214
東濃	2,944 前年比 R5.4比	2,778 ▲ 166 ▲ 166	2,713 ▲ 65 ▲ 231	2,768 55 ▲ 176	2,718 ▲ 50 ▲ 226	2,653 ▲ 65 ▲ 291	2,523 ▲ 130 ▲ 421	2,483 ▲ 40 ▲ 461	2,400 ▲ 83 ▲ 544	2,286 ▲ 114 ▲ 658
飛驒	1,230 前年比 R5.4比	1,299 69 69	1,221 ▲ 78 ▲ 9	1,160 ▲ 61 ▲ 70	1,197 37 ▲ 33	1,108 ▲ 89 ▲ 122	1,109 1 ▲ 121	1,027 ▲ 82 ▲ 203	1,042 15 ▲ 188	933 ▲ 109 ▲ 297
県全体	18,216 前年比 R5.4比	18,243 27 27	17,611 ▲ 632 ▲ 605	17,751 140 ▲ 465	17,518 ▲ 233 ▲ 698	17,088 ▲ 430 ▲ 1,128	16,547 ▲ 541 ▲ 1,669	16,009 ▲ 538 ▲ 2,207	15,903 ▲ 106 ▲ 2,313	15,262 ▲ 641 ▲ 2,954

<岐阜地区>

令和5年5月1日 現在 <学校基本調査>

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
岐阜市	3,629 前年比 R5.4比	3,769 140 140	3,587 ▲182 ▲42	3,694 107 65	3,397 ▲297 ▲232	3,422 25 ▲207	3,349 ▲73 ▲280	3,184 ▲165 ▲445	3,372 188 ▲257	3,216 ▲156 ▲413
羽島市	651 前年比 R5.4比	582 ▲69 ▲69	650 68 ▲1	602 ▲48 ▲49	598 ▲4 ▲53	609 11 ▲42	605 ▲4 ▲46	550 ▲55 ▲101	565 15 ▲86	535 ▲30 ▲116
各務原市	1,398 前年比 R5.4比	1,358 ▲40 ▲40	1,299 ▲59 ▲99	1,282 ▲17 ▲116	1,284 2 ▲114	1,309 25 ▲89	1,235 ▲74 ▲163	1,227 ▲8 ▲171	1,270 43 ▲128	1,229 ▲41 ▲169
山県市	192 前年比 R5.4比	223 31 31	197 ▲26 5	192 ▲5 0	197 5 5	181 ▲16 ▲11	197 16 5	189 ▲8 ▲3	151 ▲38 ▲41	154 3 ▲38
瑞穂市	559 前年比 R5.4比	610 51 51	540 ▲70 ▲19	622 82 63	596 ▲26 37	569 ▲27 10	549 ▲20 ▲10	567 18 8	546 ▲21 ▲13	541 ▲5 ▲18
本巣市	367 前年比 R5.4比	322 ▲45 ▲45	312 ▲10 ▲55	290 ▲22 ▲77	316 26 ▲51	291 ▲25 ▲76	263 ▲28 ▲104	279 16 ▲88	259 ▲20 ▲108	260 1 ▲107
本巣郡	177 前年比 R5.4比	199 22 22	165 ▲34 ▲12	189 24 12	171 ▲18 ▲6	166 ▲5 ▲11	164 ▲2 ▲13	174 10 ▲3	163 ▲11 ▲14	167 4 ▲10
羽島郡	402 前年比 R5.4比	404 2 2	406 2 4	420 14 18	436 16 34	411 ▲25 9	403 ▲8 1	419 16 17	403 ▲16 1	404 1 2
岐阜地区	7,375 前年比 R5.4比	7,467 92 92	7,156 ▲311 ▲219	7,291 135 ▲84	6,995 ▲296 ▲380	6,958 ▲37 ▲417	6,765 ▲193 ▲610	6,589 ▲176 ▲786	6,729 140 ▲646	6,506 ▲223 ▲869

<西濃地区>

令和5年5月1日 現在 <学校基本調査>

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
大垣市	1,318 前年比 R5.4比	1,427 109 109	1,321 ▲106 3	1,365 44 47	1,384 19 66	1,374 ▲10 56	1,282 ▲92 ▲36	1,250 ▲32 ▲68	1,279 29 ▲39	1,260 ▲19 ▲58
海津市	259 前年比 R5.4比	282 23 23	258 ▲24 ▲1	267 9 8	240 ▲27 ▲19	236 ▲4 ▲23	230 ▲6 ▲29	183 ▲47 ▲76	208 25 ▲51	190 ▲18 ▲69
養老郡	244 前年比 R5.4比	234 ▲10 ▲10	247 13 3	217 ▲30 ▲27	224 7 ▲20	195 ▲29 ▲49	206 11 ▲38	175 ▲31 ▲69	165 ▲10 ▲79	143 ▲22 ▲101
不破郡	315 前年比 R5.4比	307 ▲8 ▲8	293 ▲14 ▲22	302 9 ▲13	286 ▲16 ▲29	244 ▲42 ▲71	264 20 ▲51	220 ▲44 ▲95	213 ▲7 ▲102	239 26 ▲76
安八郡	452 前年比 R5.4比	451 ▲1 ▲1	429 ▲22 ▲23	426 ▲3 ▲26	420 ▲6 ▲32	452 32 0	373 ▲79 ▲79	428 55 ▲24	366 ▲62 ▲86	339 ▲27 ▲113
揖斐郡	651 前年比 R5.4比	628 ▲23 ▲23	605 ▲23 ▲46	563 ▲42 ▲88	607 44 ▲44	567 ▲40 ▲84	545 ▲22 ▲106	521 ▲24 ▲130	481 ▲40 ▲170	437 ▲44 ▲214
西濃地区	3,239 前年比 R5.4比	3,329 90 90	3,153 ▲176 ▲86	3,140 ▲13 ▲99	3,161 21 ▲78	3,068 ▲93 ▲171	2,900 ▲168 ▲339	2,777 ▲123 ▲462	2,712 ▲65 ▲527	2,608 ▲104 ▲631

＜美濃地区＞

令和5年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
関市	798 前年比 R5.4比	796 ▲ 2 ▲ 2	820 24 22	766 ▲ 54 ▲ 32	826 60 28	729 ▲ 97 ▲ 69	740 11 ▲ 58	667 ▲ 73 ▲ 131	643 ▲ 24 ▲ 155	610 ▲ 33 ▲ 188
美濃市	166 前年比 R5.4比	145 ▲ 21 ▲ 21	147 2 ▲ 19	164 17 ▲ 2	165 1 ▲ 1	146 ▲ 19 ▲ 20	146 0 ▲ 20	151 5 ▲ 15	137 ▲ 14 ▲ 29	118 ▲ 19 ▲ 48
郡上市	340 前年比 R5.4比	334 ▲ 6 ▲ 6	327 ▲ 7 ▲ 13	321 ▲ 6 ▲ 19	353 32 13	327 ▲ 26 ▲ 13	331 4 ▲ 9	295 ▲ 36 ▲ 45	286 ▲ 9 ▲ 54	291 5 ▲ 49
北部 (内数)	(170) 前年比 R5.4比	(188) (18) (18)	(154) (▲ 34) (▲ 16)	(176) (22) (6)	(174) (▲ 2) (4)	(164) (▲ 10) (▲ 6)	(170) (6) (0)	(145) (▲ 25) (▲ 25)	(157) (12) (▲ 13)	(164) (7) (▲ 6)
南部 (内数)	(170) 前年比 R5.4比	(146) (▲ 24) (▲ 24)	(173) (27) (3)	(145) (▲ 28) (▲ 25)	(179) (34) (9)	(163) (▲ 16) (▲ 7)	(161) (▲ 2) (▲ 9)	(150) (▲ 11) (▲ 20)	(129) (▲ 21) (▲ 41)	(127) (▲ 2) (▲ 43)
美濃地区	1,304 前年比 R5.4比	1,275 ▲ 29 ▲ 29	1,294 19 ▲ 10	1,251 ▲ 43 ▲ 53	1,344 93 40	1,202 ▲ 142 ▲ 102	1,217 15 ▲ 87	1,113 ▲ 104 ▲ 191	1,066 ▲ 47 ▲ 238	1,019 ▲ 47 ▲ 285

＜可茂地区＞

令和5年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
美濃加茂市	596 前年比 R5.4比	570 ▲ 26 ▲ 26	595 25 ▲ 1	603 8 7	594 ▲ 9 ▲ 2	598 4 2	595 ▲ 3 ▲ 1	574 ▲ 21 ▲ 22	559 ▲ 15 ▲ 37	560 1 ▲ 36
可児市	968 前年比 R5.4比	973 5 5	911 ▲ 62 ▲ 57	970 59 2	945 ▲ 25 ▲ 23	947 2 ▲ 21	911 ▲ 36 ▲ 57	908 ▲ 3 ▲ 60	874 ▲ 34 ▲ 94	821 ▲ 53 ▲ 147
加茂郡	429 前年比 R5.4比	388 ▲ 41 ▲ 41	426 38 ▲ 3	412 ▲ 14 ▲ 17	407 ▲ 5 ▲ 22	391 ▲ 16 ▲ 38	379 ▲ 12 ▲ 50	367 ▲ 12 ▲ 62	381 14 ▲ 48	361 ▲ 20 ▲ 68
可児郡	131 前年比 R5.4比	164 33 33	142 ▲ 22 11	156 14 25	157 1 26	163 6 32	148 ▲ 15 17	171 23 40	140 ▲ 31 9	168 28 37
可茂地区	2,124 前年比 R5.4比	2,095 ▲ 29 ▲ 29	2,074 ▲ 21 ▲ 50	2,141 67 17	2,103 ▲ 38 ▲ 21	2,099 ▲ 4 ▲ 25	2,033 ▲ 66 ▲ 91	2,020 ▲ 13 ▲ 104	1,954 ▲ 66 ▲ 170	1,910 ▲ 44 ▲ 214

<東濃地区>

令和5年5月1日 現在

<学校基本調査>

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
多治見市	926 前年比 ▲ 9 R5.4比 ▲ 9	917 ▲ 9 ▲ 9	926 9 0	870 ▲ 56 ▲ 56	912 42 ▲ 14	872 ▲ 40 ▲ 54	791 ▲ 81 ▲ 135	810 19 ▲ 116	776 ▲ 34 ▲ 150	775 ▲ 1 ▲ 151
土岐市	526 前年比 ▲ 63 R5.4比 ▲ 63	463 ▲ 19 ▲ 63	444 ▲ 29 ▲ 82	473 29 ▲ 53	501 28 ▲ 25	434 ▲ 67 ▲ 92	424 ▲ 10 ▲ 102	441 17 ▲ 85	426 ▲ 15 ▲ 100	406 ▲ 20 ▲ 120
瑞浪市	330 前年比 2 R5.4比 2	332 2 ▲ 21	309 ▲ 23 ▲ 21	337 28 7	292 ▲ 45 ▲ 38	278 ▲ 14 ▲ 52	289 11 ▲ 41	286 ▲ 3 ▲ 44	281 ▲ 5 ▲ 49	253 ▲ 28 ▲ 77
東濃西部	1,782 前年比 ▲ 70 R5.4比 ▲ 70	1,712 ▲ 70 ▲ 70	1,679 ▲ 33 ▲ 103	1,680 1 ▲ 102	1,705 25 ▲ 77	1,584 ▲ 121 ▲ 198	1,504 ▲ 80 ▲ 278	1,537 33 ▲ 245	1,483 ▲ 54 ▲ 299	1,434 ▲ 49 ▲ 348
恵那市	446 前年比 ▲ 41 R5.4比 ▲ 41	405 ▲ 41 ▲ 17	429 24 ▲ 17	395 ▲ 34 ▲ 51	396 1 ▲ 50	428 32 ▲ 18	372 ▲ 56 ▲ 74	349 ▲ 23 ▲ 97	342 ▲ 7 ▲ 104	306 ▲ 36 ▲ 140
旧恵南地区 (内数)	(129) 前年比 (3) R5.4比 (3)	(132) (3) (3)	(122) (▲ 10) (▲ 7)	(113) (▲ 9) (▲ 16)	(120) (7) (▲ 9)	(120) (0) (▲ 9)	(96) (▲ 24) (▲ 33)	(90) (▲ 6) (▲ 39)	(92) (2) (▲ 37)	(80) (▲ 12) (▲ 49)
中津川市	716 前年比 ▲ 55 R5.4比 ▲ 55	661 ▲ 56 ▲ 111	605 88 ▲ 23	693 ▲ 76 ▲ 99	617 24 ▲ 75	641 6 ▲ 69	647 ▲ 50 ▲ 119	597 ▲ 22 ▲ 141	575 ▲ 29 ▲ 170	546 ▲ 29 ▲ 170
旧恵北地区 (内数)	(209) 前年比 (6) R5.4比 (6)	(215) (6) (▲ 5)	(204) (▲ 11) (▲ 11)	(198) (▲ 6) (▲ 11)	(187) (▲ 11) (▲ 22)	(172) (▲ 15) (▲ 37)	(182) (10) (▲ 27)	(158) (▲ 24) (▲ 51)	(158) (0) (▲ 51)	(150) (▲ 8) (▲ 59)
東濃東部	1,162 前年比 ▲ 96 R5.4比 ▲ 96	1,066 ▲ 32 ▲ 128	1,034 54 ▲ 74	1,088 ▲ 75 ▲ 149	1,013 56 ▲ 93	1,069 ▲ 50 ▲ 143	1,019 ▲ 73 ▲ 216	946 ▲ 29 ▲ 245	917 ▲ 65 ▲ 310	852 ▲ 65 ▲ 310
東濃地区	2,944 前年比 ▲ 166 R5.4比 ▲ 166	2,778 ▲ 65 ▲ 231	2,713 55 ▲ 176	2,768 ▲ 50 ▲ 226	2,718 ▲ 65 ▲ 291	2,653 ▲ 130 ▲ 421	2,523 ▲ 40 ▲ 461	2,483 ▲ 83 ▲ 544	2,400 ▲ 114 ▲ 658	2,286 ▲ 114 ▲ 658

<飛騨地区>

令和5年5月1日 現在

<学校基本調査>

高校入学年月 学 年	R5.4 高1	R6.4 中3	R7.4 中2	R8.4 中1	R9.4 小6	R10.4 小5	R11.4 小4	R12.4 小3	R13.4 小2	R14.4 小1
高山市	791 前年比 14 R5.4比 14	805 ▲ 30 ▲ 16	775 ▲ 28 ▲ 44	747 0 ▲ 44	747 ▲ 34 ▲ 78	713 ▲ 15 ▲ 93	698 ▲ 37 ▲ 130	661 6 ▲ 124	667 ▲ 63 ▲ 187	604 ▲ 63 ▲ 187
飛騨市	181 前年比 21 R5.4比 21	202 ▲ 35 ▲ 14	167 ▲ 8 ▲ 22	159 25 3	184 ▲ 24 ▲ 21	160 14 ▲ 7	174 ▲ 11 ▲ 18	163 0 ▲ 18	163 ▲ 27 ▲ 45	136 ▲ 27 ▲ 45
旧神岡町 (内数)	(43) 前年比 (13) R5.4比 (13)	(56) (13) (▲ 5)	(38) (8) (3)	(46) (▲ 2) (1)	(44) (▲ 3) (▲ 2)	(41) (9) (7)	(50) (▲ 7) (0)	(43) (11) (11)	(54) (▲ 14) (▲ 3)	(40) (▲ 14) (▲ 3)
下呂市	248 前年比 36 R5.4比 36	284 ▲ 18 18	266 ▲ 20 ▲ 2	246 7 5	253 ▲ 35 ▲ 30	218 6 ▲ 24	224 ▲ 33 ▲ 57	191 5 ▲ 52	196 ▲ 17 ▲ 69	179 ▲ 17 ▲ 69
大野郡	10 前年比 ▲ 2 R5.4比 ▲ 2	8 5 3	13 ▲ 5 ▲ 2	8 5 3	13 4 7	17 ▲ 4 3	13 ▲ 1 2	12 4 6	16 ▲ 2 4	14 ▲ 2 4
下呂市	248 前年比 36 R5.4比 36	284 ▲ 18 18	266 ▲ 20 ▲ 2	246 7 5	253 ▲ 35 ▲ 30	218 6 ▲ 24	224 ▲ 33 ▲ 57	191 5 ▲ 52	196 ▲ 17 ▲ 69	179 ▲ 17 ▲ 69
飛騨地区	1,230 前年比 69 R5.4比 69	1,299 ▲ 78 ▲ 9	1,221 ▲ 61 ▲ 70	1,160 37 ▲ 33	1,197 ▲ 89 ▲ 122	1,108 1 ▲ 121	1,109 ▲ 82 ▲ 203	1,027 15 ▲ 188	1,042 ▲ 109 ▲ 297	933 ▲ 109 ▲ 297

参考資料2 高校生の意識に関する調査結果

- ・目的 県立高等学校の高校生の日常生活における意識について調査
- ・実施 令和5年10月
- ・対象 県立高等学校2年生全生徒 回答数 11,729人（回答率95.1%）

No	質問項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	計	2023	2022	2021	2020	2019	2018	差	
	選択肢	当てはまる 1	どちらかど いえは当て はまる	どちらかど いえは当て はまらない	当てはまら ない							未記入・未 回答	肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	2018年 との差	
5	朝食を毎日食べている。	76.4%	12.6%	5.3%	5.6%							0.0%	100.0%	89.1%	90.0%	90.9%	90.7%	90.5%	90.9%	-1.8%
6	自分には、よいところがあると思う。	42.1%	42.1%	11.5%	4.2%							0.0%	100.0%	84.2%	83.0%	81.2%	79.3%	78.3%	76.2%	8.0%
7	将来の夢や目標を持っている。	38.3%	32.7%	19.2%	9.8%							0.0%	100.0%	71.0%	70.5%	69.6%	69.8%	68.8%	68.8%	2.2%
8	高校で学んだことを生かした職業に就きたいと思う。	29.9%	40.8%	19.9%	9.4%							0.0%	100.0%	70.7%	72.2%	72.0%	71.8%	70.2%	68.4%	2.3%
9	学校行事（体育祭や文化祭など）には積極的に参加する。	60.4%	30.6%	7.1%	1.9%							0.0%	100.0%	91.0%	89.5%	85.8%	86.8%	85.1%	84.7%	6.3%
10	岐阜県や自分の住んでいる地域の産業や伝統について知っている。	25.5%	47.6%	20.8%	6.1%							0.0%	100.0%	73.0%	71.4%	70.2%	67.3%	65.4%	64.4%	8.7%
11	岐阜県や自分の住んでいる地域の魅力を伝えることができる。	20.2%	39.8%	29.7%	10.2%							0.0%	100.0%	60.1%	58.3%	57.3%	55.1%	53.3%	51.0%	9.1%
12	今住んでいる地域の行事に参加している。	16.8%	27.9%	31.7%	23.6%							0.0%	100.0%	44.7%	41.2%	42.0%	40.7%	39.5%	38.2%	6.5%
13	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	19.0%	39.3%	29.4%	12.2%							0.0%	100.0%	58.4%	60.3%	59.1%	59.5%	58.2%	53.9%	4.5%
14	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	13.9%	28.4%	37.8%	19.9%							0.0%	100.0%	42.3%	41.5%	41.6%	40.1%	38.9%	34.9%	7.5%
15	18歳になったら投票（選挙）に行こうと思う。	48.7%	32.0%	12.8%	6.5%							0.0%	100.0%	80.7%	82.1%	77.3%	77.1%	77.6%	74.3%	6.4%
16	今の高校に入学して満足している。	48.4%	38.0%	9.5%	4.1%							0.0%	100.0%	86.4%	85.9%	84.8%	83.8%	82.2%	80.9%	5.6%
17	日常の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	28.0%	50.1%	18.1%	3.8%							0.0%	100.0%	78.1%	77.9%	77.5%	76.2%	71.9%	69.6%	8.5%
18	日常の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思う。	22.0%	44.9%	25.9%	7.2%							0.0%	100.0%	66.9%	64.3%	62.3%	58.4%	54.1%	51.4%	15.5%
19	日常の授業では、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う。	31.8%	47.1%	16.4%	4.7%							0.0%	100.0%	78.8%	76.8%	74.8%	71.9%	65.1%	61.9%	16.9%
20	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	50.7%	29.1%	14.8%	4.4%							1.0%	100.0%	79.8%	80.4%	79.8%	78.6%	77.4%	77.1%	2.7%
21	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	65.4%	18.9%	14.6%								1.1%	100.0%	65.4%	65.9%	70.3%	68.8%	67.6%	66.1%	-0.7%
22	あなたは高校卒業後、大学や短期大学、専門学校などに進学を希望しますか。それとも就職を希望しますか。	55.2%	3.0%	12.8%	0.1%	16.3%	0.2%	0.1%	0.2%	11.0%		1.0%	100.0%	55.2%	55.6%	53.5%	51.9%	50.6%	50.4%	4.7%
23	あなたは高校卒業後、どの地域の大学や短期大学、専門学校などに進学したいと考えていますか。あるいは、どの地域に就職したいと考えていますか。	26.3%	32.3%	0.5%	3.2%	3.2%	1.7%	1.3%	3.3%	1.5%	25.6%	1.0%	100.0%	26.3%	26.4%	28.0%	28.8%	28.7%	27.8%	-1.6%
24	あなたは、40歳になったとき、どの地域で生活したいと考えていますか。	30.0%	9.4%	0.4%	1.9%	3.8%	2.7%	1.1%	1.9%	3.0%	44.8%	1.0%	100.0%	30.0%	29.4%	30.9%	32.4%	33.4%	32.8%	-2.8%

参考資料3 中高一貫教育校に関するアンケート結果

令和5年度 実施		対象数	回答者数	回収率	備考
児童生徒	小学6年生	17,435	8,302	47.6%	小学校6年生児童数17,518人 (うち、私立小学校6年生の児童数83人を除く)
保護者	小学6年生の保護者		3,905		
教職員	校長 (小・中・義・高・特)	613	487	79.4%	小学校348校、中学校171校、義務教育学校6校 高等学校66校、特別支援学校22校
	市町村教委	42	24	57.1%	
計			12,718		抽出校での悉皆調査

平成30年度 実施		対象数	回答者数	回収率	備考
児童生徒	小学6年生	18,595	6,434	34.6%	小学校6年生児童数18,676人 (うち、私立小学校6年生の児童数81人を除く)
保護者	小学6年生の保護者		2,420		
教職員	教諭・教頭 (小・中・義)	9,160	1,138	12.4%	小学校367校、中学校178校、義務教育学校2校 高等学校66校、特別支援学校22校
	校長 (小・中・義・高・特)	630	509	80.8%	
計			10,501		児童は抽出校での悉皆調査 保護者は県HP上での任意調査

平成26年度 実施		対象数	回答者数	回収率	備考
児童生徒	小学6年生	20,143	2,228	11.1%	小学校6年生児童数20,202人 (うち、私立小学校6年生の児童数59人を除く)
保護者	小学6年生の保護者		2,053		
教職員	教諭・教頭 (小・中)	10,145	1,149	11.3%	小学校371校、中学校184校、 高等学校66校、特別支援学校19校
	校長 (小・中・高・特)	638	621	97.3%	
計			6,051		抽出校での悉皆調査

平成18年度 実施		対象数	回答者数	回収率	備考
児童生徒	小学6年生	21,341	2,090	9.8%	小学校6年生児童数21,368人 (うち、私立小学校6年生の児童数27人を除く)
保護者	小学6年生の保護者		1,952		
教職員	教諭・教頭 (小・中)	10,088	512	5.1%	小学校391校、中学校192校 高等学校69校、盲・聾・養護学校14校
	校長 (小・中・高・養)	663	659	99.4%	
計			5,213		抽出校での悉皆調査

集計結果(小学校6年生児童)

問1 県立の併設型中高一貫教育校・中等教育学校について

	R5	H30	H26	H18
回答者数	8,302人	6,434人	2,228人	2,090人
① 入学したい	12.1%	15.7%	12.0%	18.4%
② 入学したいと思わない	46.9%	70.3%	57.6%	51.2%
③ わからない	41.1%	14.1%	30.3%	30.4%

問1で①「入学したい」とした回答者に質問

問2 入学したい理由は何ですか(複数回答可)。

	R5	H30	H26	H18
問1で①「入学したい」とした回答者数	1,001人	1,008人	268人	384人
① 高校入試を受けずに中学・高校の6年間を送ることができる	57.0%	56.1%	56.0%	62.8%
② 特色ある学習や体験活動などがありそう	22.2%	23.3%	30.6%	33.3%
③ じっくりと丁寧に勉強を教えてもらえそう	28.5%	28.1%	35.4%	30.7%
④ 大学への進学に有利になりそう	21.8%	23.1%	25.0%	14.6%
⑤ 小学校とは違う新しい友達ができそう	25.7%	21.0%	17.2%	26.8%
⑥ 親が薦める	3.3%	3.3%	4.1%	4.7%
⑦ その他	6.5%	8.4%	5.2%	6.0%

問1で②「入学したいと思わない」とした回答者に質問

問3 入学したいと思わない理由は何ですか(複数回答可)。

	R5	H30	H26	H18
問1で②「入学したいと思わない」とした回答者数	3,893人	4,521人	1,284人	1,071人
① 入るためには、検査などを受けなければならない	18.9%	11.5%	28.0%	29.0%
② 地元の中学校の学校行事や部活動などの活動が楽しそう	16.8%	23.3%	24.5%	32.1%
③ 地元の中学校で、じっくりと丁寧に勉強を教えてもらえそう	12.8%	12.8%	13.6%	15.5%
④ 地元の中学校から、目指す高校・大学に進学できそう	24.7%	29.0%	32.6%	15.5%
⑤ 小学校の友達と同じ中学校へ行きたい	57.5%	55.4%	43.9%	41.7%
⑥ 小学校の卒業時に適した学校を選ぶのが難しい	15.4%	15.0%	10.3%	13.4%
⑦ その他	10.5%	9.8%	7.2%	7.9%

集計結果(保護者) 小学校6年生の児童の保護者

問1 県立の併設型中高一貫教育校・中等教育学校について

	R5	H30	H26	H18
回答者数	3,905人	2,420人	2,053人	1,952人
① 入学させたい	29.8%	44.5%	24.7%	30.0%
② 入学させたいと思わない	18.9%	26.9%	26.4%	22.4%
③ わからない	51.3%	28.6%	48.9%	47.5%

問1で①「入学させたい」とした回答者に質問

問2 入学させたい理由は何ですか(複数回答可)。

	R5	H30	H26	H18
問1で①「入学させたい」とした回答者数	1,162人	1,077人	507人	586人
① 高校入試を受けずに中学・高校の6年間を送ることができる	64.1%	63.5%	65.3%	60.1%
② 特色ある学習や体験活動などがありそう	46.4%	34.5%	40.2%	35.2%
③ じっくりとていねいに勉強を教えてもらえそう	21.7%	33.7%	31.8%	35.7%
④ 大学への進学に有利になりそう	8.6%	15.2%	7.6%	8.0%
⑤ 小学校とは違う新しい友達ができそう	7.4%	8.9%	4.6%	10.4%
⑥ 私立より学費等が少なく済みそう(保護者のみ)	26.7%	28.8%	24.9%	21.8%
⑦ 子どもが希望する	1.0%	0.9%	1.2%	1.0%
⑧ その他	1.2%	2.7%	3.8%	2.4%

問1で②「入学させたいと思わない」とした回答者に質問

問3 入学させたいと思わない理由は何ですか(複数回答可)。

	R5	H30	H26	H18
問1で②「入学させたいと思わない」とした回答者数	595人	650人	542人	438人
① 入るためには、検査などを受けなければならない	29.7%	26.2%	22.0%	28.3%
② 地元の中学校の学校行事や部活動などの活動が楽しい	7.2%	13.4%	11.8%	14.6%
③ 地元の中学校で、じっくりと丁寧に勉強を教えてもらえる	14.6%	9.5%	4.9%	3.7%
④ 地元の中学校からも、希望する高校・大学に進学できる	21.0%	17.7%	20.1%	22.1%
⑤ 小学校の友達と同じ中学校へ行かせたい	64.7%	44.6%	40.1%	29.0%
⑥ 小学校の卒業時に適した学校を選ぶのが難しい	44.9%	48.2%	51.9%	50.0%
⑦ 国立や私立の中学校等に進学させたい	2.0%	2.0%	1.7%	
⑧ その他	11.3%	8.6%	13.8%	13.0%

集計結果(校長・教育委員会) 小・中・義務・高・特支学校の校長、市町村教育委員会

問1 県立の併設型中高一貫教育校・中等教育学校について

	R5	H30	H26	H18
回答者数	511人	509人	621人	659人
① 必要だと思う	12.3%	26.9%	14.8%	23.8%
② どちらかといえば必要だと思う	45.0%	31.6%	36.9%	
③ どちらかといえば必要ないと思う	35.2%	31.4%	35.3%	
④ 必要ないと思う	7.4%	10.0%	13.0%	76.2%

問2 中高一貫教育校のプラスの影響を及ぼすと思われるもの(複数回答可)

H30まで:「中高一貫教育校が必要だと思う理由」
(問1で①「必要だと思う」②「どちらかといえば必要だと思う」の回答者のみ回答)

	R5	H30	H26	H18
回答者数	511人	298人	321人	
① 高校入試の影響を受けない、6年間のゆとりある計画的・継続的な教育活動の展開	49.9%	70.1%	64.5%	
② 従来の公立学校にない特色のある教育	32.1%	40.9%	39.3%	
③ 大学進学希望者の学力向上を重視する教育ができる		6.0%	5.9%	
④ 異年齢集団による活動により、社会性や豊かな人間性の育成	17.2%	8.4%	11.8%	
⑤ 6年間にわたり生徒を継続的に把握することで個性の伸長や優れた才能の発見	41.9%	42.6%	48.3%	
⑥ 県内の県立中高一貫教育校という選択肢の拡大	10.8%	17.4%	20.9%	
⑦ その他	0.4%	4.4%	5.3%	

問3 中高一貫教育校のマイナスの影響を及ぼすと思われるもの(複数回答可)

H30まで:「中高一貫教育校が必要ないと思う理由」
(問1で③「どちらかといえば必要ないと思う」、④「必要ないと思う」の回答者のみ回答)

	R5	H30	H26	H18
回答者数	511人	211人	300人	502人
① 生徒数の減少やリーダーとして活躍できる人材の地区外流出など、既存の市町村立中学校への影響	30.7%	25.6%	20.0%	11.0%
② 既存の中学校、高等学校で中高一貫教育で目指す教育ができる		13.3%	12.7%	14.5%
③ 限られた子どもだけに与えられる教育になること	21.1%	29.4%	26.7%	32.5%
④ 入学準備のために、ゆとりのない生活を強いられる恐れがあること	7.0%	10.0%	14.3%	11.0%
⑤ 小学校6年生の段階で、中高一貫教育校か一般の中学校かの選択を迫ること (H18は「本人の意思というより親の意志に偏る傾向が出てくるから」)	42.5%	30.8%	29.0%	16.9%
⑥ 中高一貫教育校よりも今の学校教育をさらに充実させていくことの方が大切		39.8%	45.0%	63.5%
⑦ 私立学校が特色を示すために行えばよく、公立学校として行う必要はない		18.0%	21.3%	18.9%
⑧ 限られた人間関係の中で6年間の学校生活を送ること	33.7%			
⑨ その他	4.1%	12.3%	13.0%	4.0%

問4 中高一貫教育校に限らず、どのような学校が必要か(複数回答可)

H30まで:「中高一貫教育校で重視すると良い教育内容」
(問1で①「必要だと思う」②「どちらかといえば必要だと思う」の回答者のみ回答)

	R5	H30	H26	H18
回答者数	511人	298人	321人	157人
① 大学進学のための勉強を中心とした学校	2.7%	24.2%	25.2%	29.9%
② 国際化や情報化に対応するための教育		35.2%	31.5%	
②-1 外国語教育や海外留学など、国際化に対応するための学校	16.6%			
②-2 最先端の科学技術など、情報化に対応するための学校	20.9%			
③ スポーツや芸術などの一人一人の得意なことをさらに伸ばす学校	18.6%	37.2%	47.4%	51.0%
④ ボランティア活動、自然体験などの体験活動を多く取り入れた学校	7.8%	14.8%	16.2%	26.1%
⑤ 自ら課題を見つけ、解決に導く力を身につける課題探究学習を多く取り入れた学校	41.3%			
⑥ 自宅に居ながら、自分のペースで学習することができる学校	17.0%			
⑦ 専門学科(農業、工業、商業、生活産業等)で行っている、資格取得や高度な技能習得を目指す学校	12.7%	25.5%	25.2%	
⑧ 地域の歴史や文化、産業、伝統工芸や芸能など、地域資源を教材とした学習を多く取り入れた学校	12.1%	41.9%	34.9%	21.7%
⑨ その他	3.1%	3.7%	5.0%	7.0%

参考資料4 県立高等学校の案内に関するリーフレット

岐阜県立高校で

「やりたいこと」 「なりたい自分」 を見つけよう！

～きみの「やりたい」がきっとある！～





■ 学校に対する満足度 ■

「今の高校に入学して満足している」と答えた高校生の割合*

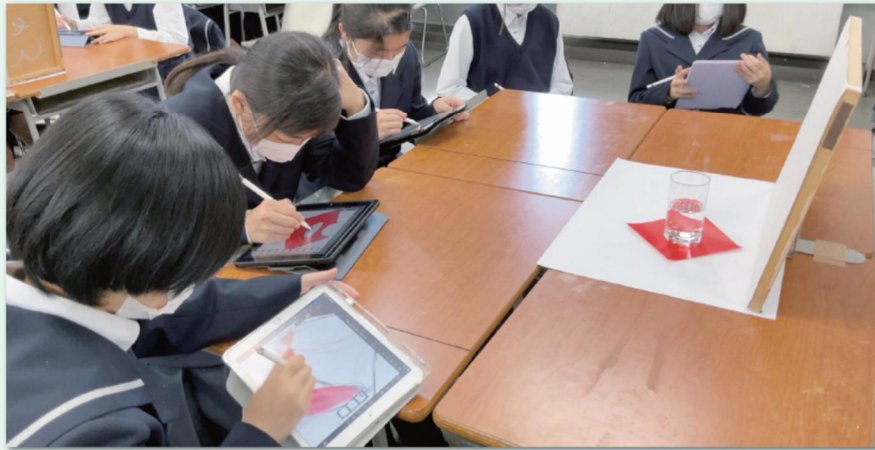
※高校生の意識に関する調査（県立高校2年生対象、毎年10月県教育委員会調べ）にて「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したもの

年度	満足している割合
H30	80.9%
R2	83.8%
R4	85.9%

令和5年7月 岐阜県教育委員会

特色・魅力ある学び

あなたの「やりたい」がきっと見つかる



「普通科」で学ぶ

「専門学科」で学ぶ

「総合学科」で学ぶ



普通科では、国・社・数・理・英・体・芸・家を中心に進学・就職など皆さんの進路希望に沿って充実した学習ができます。普通科の一部で導入している「単位制普通科」では、進路希望に応じて科目を自分で選択でき、より主体的に学ぶことができます。

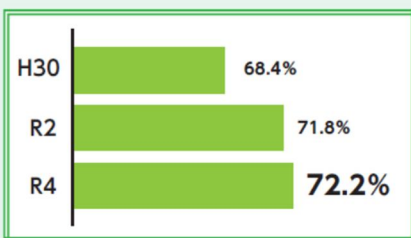


農業や工業、商業、家庭、福祉、情報、芸術といった多彩な学科を設置し、皆さんの挑戦を応援しています。実技、実習を中心とした学習で、資格の取得や、専門的な技術を身につけることができます。



県内7校に設置している総合学科では、普通科で学べる科目だけでなく、進路希望や興味関心に応じて専門学科の科目も学ぶことができます。普通科と専門学科のよさをあわせもった学科のため幅広い進路選択ができます。

「高校で学んだことを生かした
職業に就きたいと思う」生徒の割合※



特色ある学びで

進路実現を目指そう

高校で学んだことを生かした職業に就きたいと考える生徒が多くいます。興味のある分野、高校で学んだ分野の学習を生かして進路実現を目指しましょう。



ふるさと教育と探究的な学び

地域の魅力、学校の魅力、自分の魅力を再発見しよう



産業界、自治体、
大学とともに探究しよう

地域とともに
学校の未来をつくろう

グローバルな視点で
活躍できる力を身につけよう



地域の企業や自治体、大学などと連携して、各方面の専門家から直接学ぶことができます。学校の授業だけでは得られない体験を通して、幅広く探究的に学ぶことができます。学校から飛び出して行う実践的な学びを通して地域の魅力を再発見しましょう。

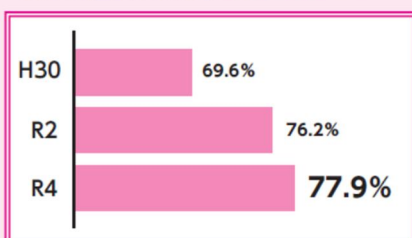


学校と地域が連携して互いにアイデアを出し合い、地域や学校の課題を発見・解決する学びを行っています。学校内外から地域と学校を見つめる活動を進めることで、地域だけでなく学校の魅力も再発見し、自分たちで学校を変えていくことができます。



地域の企業や自治体、大学だけでなく、国内外の企業や大学などと連携した活動も行っています。国外や他地域と関わり、地域を見つめなおす中で、知的好奇心や自分の考えを伝える力を育みながら、まだ気づいていない自分の魅力や才能を見つけることができます。

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う」生徒の割合※



自主的に動く力を

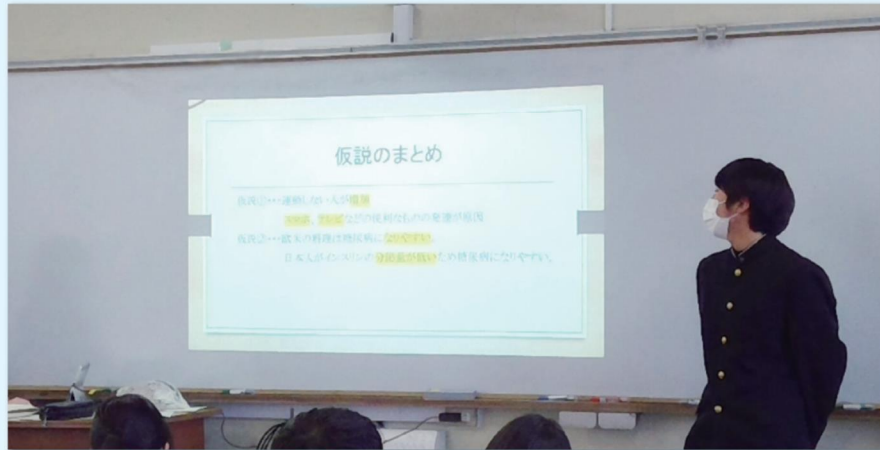
身につけて変わっていきよう

探究的な学びを続けることで、自分で考え、自分から取り組むことのできる力を身につけましょう。きっと新たな自分、目指す姿に出会えるはずです。



ICTを活用した多様な学び

ICTを活用して新たな自分を見つけよう



仲間と学ぼう

「わかる」を増やそう

どこでも学べる



県立高校の生徒全員にMicrosoft 365 A3アカウントを配付し、授業や学校生活に活用しています。Microsoft Teamsでのグループメンバーとの意見交換や、PowerPointでの共同編集など、オンライン上での仲間と協力することで探究的な学びがさらに充実します。

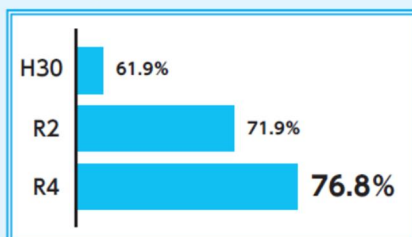


授業支援ツール「MetaMoJi Classroom」を活用し、先生の問いにタブレット端末に書き込んで回答することや、回答中に先生からリアルタイムで助言を得ることができます。自分の画面をクラス全員のタブレット端末に表示して発表することもできます。



オンライン会議システムを活用し、学校や自宅から学校外連携機関の方とつながることで、学びの場を地域や海外まで広げることができます。家庭学習支援サービス「manaba」を活用し、自宅で小テストやレポートなどに取り組むこともできます。

「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」生徒の割合※



ICT機器で

自分の考えを発信しよう

ICT機器は情報収集することで、自分の考えを深めたり、発信したりするためのツールです。様々なツールを活用して、楽しくICTスキルを身につけましょう。



多彩な部活動や学校行事

文化部のインターハイ 全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催されます



「清流の国ぎふ」
マスコットキャラクター
ミナモ

令和6年夏開催 第48回全国高等学校総合文化祭

全国高等学校総合文化祭は、全国の高校生による芸術文化活動の祭典です。総合開会式やパレードからなる開会行事から始まり、19の規定部門と3つの協賛部門で発表・展示・競技などが行われます。全国から約2万人の高校生が集い、約10万人の観覧者が訪れる、国内最大規模を誇る「文化部のインターハイ」です。岐阜県開催は、昭和59年度(第8回大会)以来2回目となります。



大会愛称 清流の国ぎふ総文2024

大会テーマ 集え青春 漕ぎ出せ知の浅水面煙々 清流の国へ

開催期間 令和6年7月31日(水)～8月5日(月) <6日間>



とうきょう総文2022 パレード



大会ポスター原画



2023かごしま総文 プレ大会総合開会式



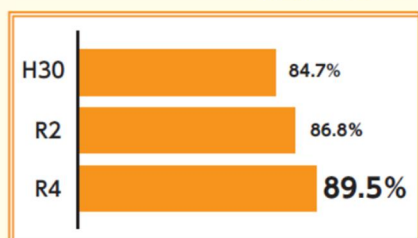
生徒実行委員会 活動の様子



令和6年秋には、「清流の国ぎふ」文化祭2024(第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭)が開催され、県内全市町村で様々なイベントが展開されます。(会期 10月14日(月・祝)～11月24日(日)42日間)

「学校行事に積極的に参加する」

生徒の割合*



部活動や学校行事で

自分の輝ける場所を見つけよう

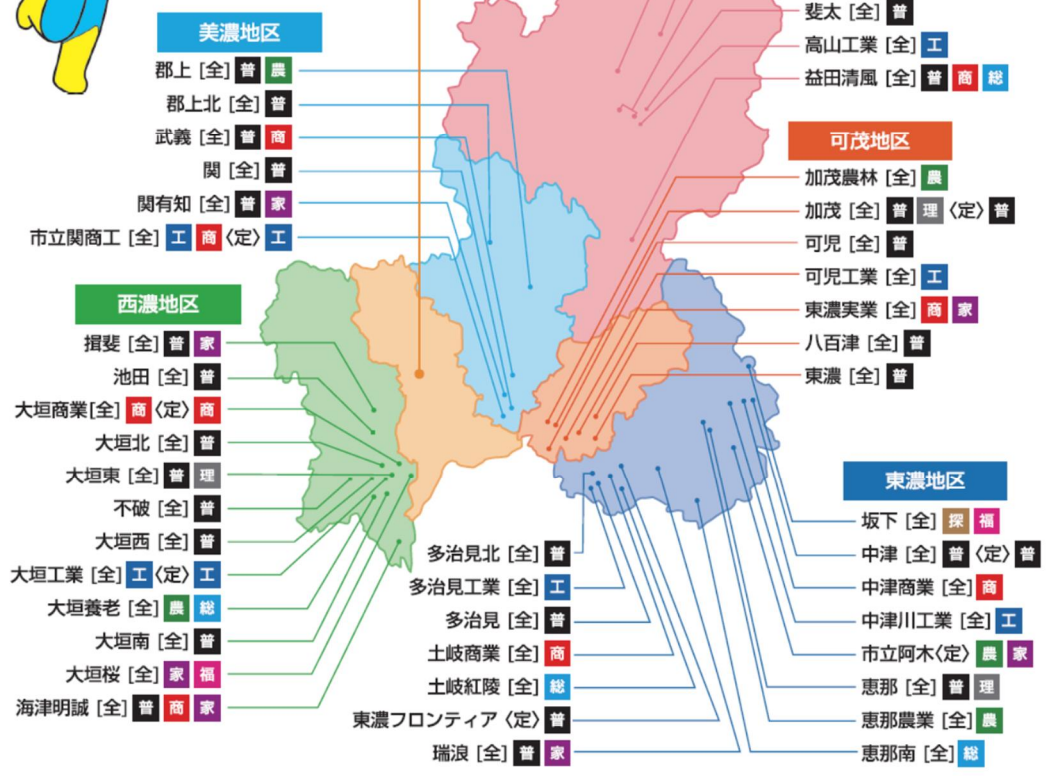
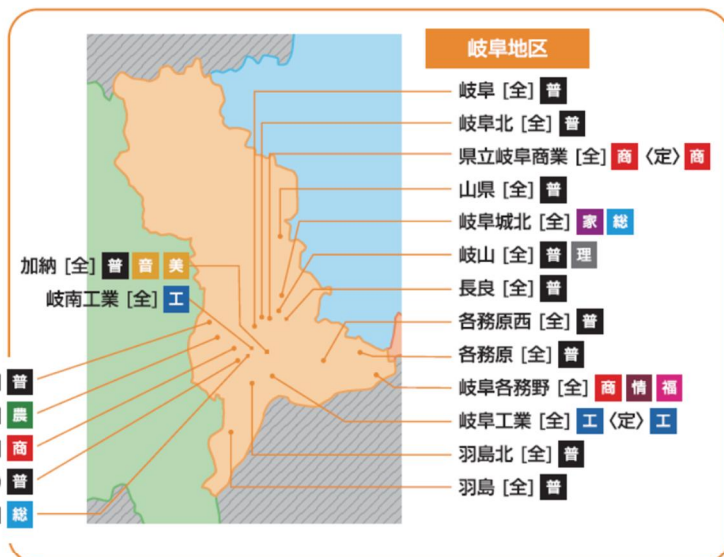
公立高校では学校ごとに様々な部活動や学校行事が皆さんの高校生活を盛り上げてくれます。学習以外のことにたくさん挑戦しましょう。

各学校の部活動や学校行事は
各公立高校HPで確認しよう▶



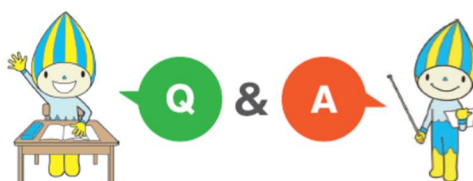
↓ 公立高校はここにあります ↓

- 普** …… 普通科 **理** …… 理数科
- 探** …… 地域探究科
- 音** …… 音楽科 **美** …… 美術科
- 農** …… 農業科 **工** …… 工業科
- 商** …… 商業科 **情** …… 情報科
- 家** …… 家庭科 **福** …… 福祉科
- 総** …… 総合学科
- [全] …… 全日制課程
- <定> …… 定時制課程
- (通) …… 通信制課程



公立高校学科一覧

地区	校名	学年	種別	学科	
岐阜地区	岐阜 阜	[全]	■	普通	
	岐阜 北	[全]	■	普通	
	岐阜 長良	[全]	■	普通	
	岐阜 山	[全]	■	普通	
	加 納	[全]	■	普通	
	羽 島 北	[全]	■	普通	
	岐阜総合学園	[全]	■	総合	
	岐阜城北	[全]	■	生活デザイン	
	岐阜商業	[全]	■	流通ビジネス ビジネス情報 グローバルビジネス	
	岐阜工業	[全]	■	機械工学 自動車工学 電気工学 建築工学 土木工学	
	各務原	[全]	■	普通	
	各務原西	[全]	■	普通	
	岐阜各務野	[全]	■	ビジネス 情報	
	本巣松陽	[全]	■	普通	
	岐阜農林	[全]	■	動物科学 園芸科学 流通科学 生物工学 森林科学 環境科学	
	山 県	[全]	■	普通	
	羽 島	[全]	■	普通	
	岐阜工業	[全]	■	航空・機械工学科群 航空機械工学 電子機械工学 電気・電子工学科群 電気工学 電子工学 建築工学 建設・デザイン工学科群 土木工学 デザイン工学 化学・設備工学科群 化学技術工学 設備システム工学	
	華陽フロンティア	<定>	■	工業技術 普通(Ⅰ部) 普通(Ⅱ部) 普通(Ⅲ部)	
	市立岐阜商業	[全]	■	普通 ビジネス情報 ビジネス	
西濃地区	揖 斐	[全]	■	普通	
	池 田	[全]	■	生活デザイン	
	大 垣 北	[全]	■	普通	
	大 垣 南	[全]	■	普通	
	大 垣 東	[全]	■	普通	
	大 垣 西	[全]	■	普通	
	大 垣 養 老	[全]	■	食の農学科群 動物科学 食品科学 緑の農学科群 園芸科学 環境科学	
	大 垣 商 業	[全]	■	総合 ビジネス ビジネス情報 ビジネス	
	大 垣 工 業	[全]	■	機械工学科群 機械工学 電子機械工学 電気・電子工学科群 電気工学 電子工学 建設工学科群 建築工学 土木工学	
	大 垣 桜	[全]	■	化学技術工学 工業技術 服飾デザイン 生活デザイン	
	不 破	[全]	■	普通	
	海 津 明 誠	[全]	■	普通 ビジネス情報 生活デザイン	
美濃地区	郡 上 北	[全]	■	普通	
	郡 上	[全]	■	普通	
	武 義	[全]	■	総合農業学科群 園芸科学 食品科学 森林環境科学	
	関 有 知	[全]	■	普通	
	関	[全]	■	普通	
	市立関商工	[全]	■	普通 建設工学 電子機械 総合ビジネス 機械	
	可 茂 地 区	加 茂 茂	[全]	■	普通 理数 普通
	加 茂 農 林	[全]	■	食品科学 園芸 流通 環境デザイン 森林科学 生産科学	
	八 百 津	[全]	■	普通	
	東 濃 農 業	[全]	■	普通 ビジネス ビジネス情報 生活デザイン	
可 児	[全]	■	普通		
可 児 工 業	[全]	■	機械工学 電気工学 建設工学科群 建築工学 土木工学 化学技術工学		
東濃地区	多 治 見	[全]	■	普通	
	多 治 見 北	[全]	■	普通	
	多 治 見 工 業	[全]	■	電子機械工学 電気工学 産業デザイン工学 セラミック工学	
	瑞 浪	[全]	■	普通	
	土 岐 紅 陵	[全]	■	生活デザイン	
	土 岐 商 業	[全]	■	総合 ビジネス ビジネス情報	
	恵 那	[全]	■	普通	
	恵 那 南	[全]	■	普通	
	恵 那 農 業	[全]	■	食の農学科群 生産科学 食品科学 園芸科学 花と緑の農学科群 環境科学	
	中 津	[全]	■	普通	
	坂 下	[全]	■	普通 地域探究 福祉	
	中 津 商 業	[全]	■	普通 ビジネス ビジネス情報	
中 津 川 工 業	[全]	■	機械工学科群 機械工学 電子機械工学 電気工学 建設工学科群 建築工学 土木工学		
東濃フロンティア	<定>	■	普通(Ⅰ部) 普通(Ⅱ部) 普通(Ⅲ部)		
市立阿木	<定>	■	普通 生産科学 総合生活		
飛騨地区	益 田 清 風	[全]	■	普通 ビジネス情報 総合	
	斐 太	[全]	■	普通	
	飛 騨 高 山	[全]	■	食の農学科群 動物科学 食品科学 緑の農学科群 園芸科学 環境科学	
	高 山 工 業	[全]	■	普通 ビジネス ビジネス情報 生活デザイン	
	古 城	[全]	■	普通	
	飛 騨 神 岡	[全]	■	機械工学 電子機械工学 電気工学 建築インテリア工学	
	飛 騨 神 岡	[全]	■	普通	
	飛 騨 神 岡	[全]	■	普通 理数 総合	



Q1 公立高校にはどんな学科があるの？

A1 高等学校の学科は、学習内容によって、大きく「普通教育を主とする学科」、「専門教育を主とする学科（専門学科）」、「総合学科」の3つに分けられます。

普通教育を主とする学科には、普通教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報）を中心に学習する普通科と、普通教科のほかに地域社会が抱える課題や魅力について学習する地域社会に関する学科（地域探究科）があります。

専門教育を主とする学科（専門学科）の中で、職業に関する学科には、農業、工業、商業、生活産業（家庭、福祉）、情報があり、普通教科のほかに職業に関する専門科目を学習します。その他の専門科目を置く専門学科として、理数科、音楽科、美術科があります。

総合学科では、履修が必要な科目のほかに、普通科目や専門科目などを総合した多様な科目の中から、生徒が主体的に選択した科目を学びます。

Q2 高校入試の情報を知りたい場合はどうすればいいの？

A2 県教育委員会のホームページに高校入試の情報をまとめています。確認してみてください。

○高校入試に関する情報、過去の出願状況、学力検査の結果、中学生のための進路情報



○高校入試のしくみ、入学定員等の情報



**入学定員は
10月末までに発表**

Q3 高校入試についてわからないことがある場合はどうすればいいの？

A3 初めての入試ですので、不安に感じている人も多いと思います。これまで高校入試を受験した先輩からの質問を、よくある質問「公立高等学校の入学選抜制度 Q&A」として県教育委員会のホームページに掲載していますので、参考にしてください。

○公立高等学校の入学選抜制度Q&Aは [こちら](#)です



岐阜県では、意志あるすべての生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料や教育費の負担軽減のための各種支援制度を実施しています。 ※金額等については令和5年度現在のものであり、変更の可能性があります。

高等学校等就学支援金

国の就学支援金制度で、公立全日制の場合、条件によっては最大年間118,800円が助成されます。

高校生等奨学給付金

教科書学用品等の授業料以外の教育費の負担を軽減するため、非課税世帯等^(※1)の生徒に対し、県から奨学給付金が給付されます。条件によっては、最大年間143,700円が給付されます。

(※1) 家計が急変した世帯の生徒にも奨学給付金が支給されます。

<支給条件> ●保護者等が岐阜県内に在住していること ●高等学校等に在学していること 等

(公立高校)	生活保護受給世帯	(年額)	
		非課税世帯等(第1子)	非課税世帯等(第2子以降) ^(※2)
全日制・定時制	32,300円	117,100円	143,700円
通信制		50,500円	
専攻科	50,500円		

(※2) 非課税世帯等(第2子以降)とは、当該高校生以外に15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯の場合をいいます。

上記の他、岐阜県では次のような奨学金制度(貸付型・申請条件有)を設けています。

- 岐阜県選奨生奨学金 (最大月額 40,000円)
- 岐阜県高等学校奨学金 (最大月額 28,000円)
- 岐阜県子育て支援奨学金(最大月額 28,000円)

これら制度に関する問合せ先 ☎ 岐阜県教育委員会 教育財務課 管理経理係 TEL058-272-8734(直通)

このパンフレットの内容に関するお問い合わせは、下記まで。

岐阜県教育委員会 教育総務課 教育企画係

TEL : 058-272-8728(直通) E-mail : c17765@pref.gifu.lg.jp



参考資料5 県外募集に関するチラシ、広報

岐阜県立高校 で学んでみませんか



岐阜県の県立高校では、

21校が県外募集を実施します※

募集する学科（群）や詳細については裏面をご覧ください

本件に関するお問い合わせ先

岐阜県教育委員会 高校教育課 高校総合支援係 電話：058-272-8842

Mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

※令和6年度県立高校入学者選抜において
写真は岐阜城天守閣から望む長良川

清流の国ぎふ

各学校で募集する分野・学科（群）

特色ある教育での募集

加納高校	音楽、美術 ：音楽科、美術科
多治見工業高校	セラミック ：セラミック工学科
恵那農業高校	ふるさと教育（食、花と緑） ：食の農学科群、花と緑の農学科群
坂下高校	福祉 ：福祉科
益田清風高校	ふるさと教育（地域文化伝承） ：総合学科
高山工業高校	建築インテリア ：建築インテリア工学科

全国で活躍する部活動での募集

県外募集
ホームページ



羽島北高校	フェンシング ：普通科
岐阜総合学園高校	ホッケー（男子） ：総合学科
岐阜城北高校	硬式野球（男子） ：生活デザイン科、総合学科
岐阜商業高校	硬式野球（男子） ：流通ビジネス科、ビジネス情報科、会計科
岐南工業高校	自転車競技 ：機械工学科、自動車工学科、電気工学科、 電子工学科、建築工学科、土木工学科
岐阜各務野高校	ホッケー（女子） ：ビジネス科
大垣南高校	フェンシング ：普通科
大垣東高校	水球（男子） ：普通科
大垣商業高校	体操 ：ビジネス科
海津明誠高校	ヨット ：普通科、ビジネス情報科、生活デザイン科
関有知高校	ライフル射撃 ：普通科、生活デザイン科
加茂高校	ボート ：普通科、理数科
土岐商業高校	ウェイトリフティング ：ビジネス科、ビジネス情報科
中津商業高校	スケート ：ビジネス科、ビジネス情報科
飛騨神岡高校	ロボット ：総合学科



岐阜県教育委員会

令和5年度「岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ」概要

◆ 令和5年度の活性化に関する取組み

1 ふるさと教育について（学校ごとの取組み及び成果と課題）

○ 地域連携による活力ある高校づくり推進事業（2頁）

- ・ 本事業の具体的な成果として、地域から一定の評価を得ていることや県内就職率の上昇、生徒の進路意識が変化したことなどが挙げられる一方、定員充足率や高校設置市郡からの入学率の上昇に直接的な影響がなかったことなどは課題。
- ・ 平成28年度から実施してきた本事業の取組みにより、地域と学校の垣根が低くなり、地域と学校が一体となった教育活動が定着したこと自体が、高校の活性化に大きな効果を生んだものと捉えている。

○ 地域課題探究型学習推進事業（11頁）

- ・ 地域についての課題意識や地域への帰属意識などを醸成する活動を進め、地域の魅力や課題を再発見すること、探究学習を通して進学や就職等についての目的意識にもつなげることができた。これまでの研究や講演等を生かした地域との実践的な活動を増やしていけるかが課題。

○ グローカル探究実践事業（16頁）

- ・ 地域や学校の特色に応じた探究活動を展開し、外部機関との連携により社会課題の解決に向けた取組みを実践。課題を発見・解決する力や、表現力・発信力の育成が図られた。取組みの成果を校外や地域へ積極的に発信することが必要。

○ 地域共創フラッグシップハイスクール事業（18頁）

- ・ 地域や海外との連携を進め、校外での活動を通して、幅広い視野や考え方、課題を解決する力を育成することができた。各校の取組みの成果を学校間で交流することで、活動の更なる充実が必要。

○ 理数教育フラッグシップハイスクール事業（20頁）

- ・ 総合的な探究の時間（理数科設置校は共通教科「理数」の時間）における理数系分野の研究テーマについて実践事例を蓄積することができた。これらの取組みを県内で幅広く実施できるよう、成果の普及や共有が課題。

○ 地域産業の担い手育成総合戦略事業（22頁）

- ・ 地域課題等の解決をテーマに、地域理解を深め、授業で身につけた知識・技術の活用及び向上を図ると共に、将来の地域産業の担い手となる学びを実施した。更なる探究的で深い学びとなる取組みの実施を推進するとともに、将来の産業、地域の産業を担うことのできる人材育成に努める。

○ 清流の国ぎふ、ふるさと魅力体験事業（27頁）

- ・ 「ふるさと岐阜」への愛着をはぐくむふるさと教育の一貫として、県の自然・歴史・文化・産業等に関する施設や史跡等を訪れ、体験活動や教育プログラム等を実施することにより、岐阜県の魅力を新たに発見し、見識を広げた。令和元年度からの5年間で全県立高校63校が実施完了。

2 その他の事業等 (28 頁)

○ 県立高等学校の魅力発信

- ・ 「キャリア・チャレンジDay」や「高等学校フェア」の実施、「県立高等学校案内に関するリーフレット」配付などを通して、県立高等学校の魅力発信に努めた。

○ 進学指導推進事業

- ・ 進学指導重点校事業は重点校を 12 校に精選して実施。大学進学指導連絡協議会と連携した進学指導連携事業や、県総合教育センター講座の研修として教員研修を実施する進学指導研修事業を継続して実施。

○ 高等学校における演劇等ワークショップ事業

- ・ 演劇手法を用いた協働活動を通して、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図る取組みを 13 校において実施。

3 令和 6 年度県立高等学校入学者選抜の改善 (県外からの生徒募集) (30 頁)

土岐商業高校 (ウェイトリフティング部) と中津商業高校 (スケート部) の 2 校を加え、計 21 校において「特色ある教育」「全国で活躍する部活動」の各分野で実施。

◆ 来年度以降の取組み (32 頁)

○ スクール・ミッションの再定義

- ・ 第 4 次岐阜県教育振興基本計画の内容や、学校運営協議会等での意見等を踏まえて、令和 6 年度中にスクール・ミッションを再定義、公表する。

○ ふるさと教育の推進

- ・ 令和 6 年度は、事業対象校を 1 校 1 事業とし、これまでの事業を継続・継承する形で体系を整理した。この体系図のもと、引き続き、地域と学校が一体となった教育活動を通して、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する探究的な学びを推進する。

○ 演劇等ワークショップの拡充

- ・ 現在実施している 13 校に 6 校を加え、幅広く演劇表現等のワークショップを実施し、コミュニケーション能力や自己表現力の向上、自己肯定感・自己有用感を育む。

○ 遠隔授業の実施

- ・ 遠隔授業のための機器を導入し、単位認定を伴う授業での運用を前提とした実証研究を行う。

○ 併設型中高一貫教育

- ・ 引き続き県内ニーズや全国の設置状況の把握に努めていく。

◆ 今後の方向性について (35 頁)

- ・ 第 4 次岐阜県教育振興基本計画が策定されるにあたり、今後は、令和 11 年以降の急激な生徒減少期を見据えた県立高校のあり方について、具体的な検討に着手する時期となるため、次年度以降の活性化策を示す役割も担ってきた本まとめは、今年度で休止。
- ・ 今後は、中長期的な生徒数の減少、学びの機会の保障、多様な学習ニーズへの対応、校舎改築の時期を見据えた教育環境の整備などの視点から、県立高校のあり方についての具体的な検討を進めると同時に、必要に応じて学科改編等の検討を行いながら、岐阜県型探究学習 (ふるさと教育) を推進。